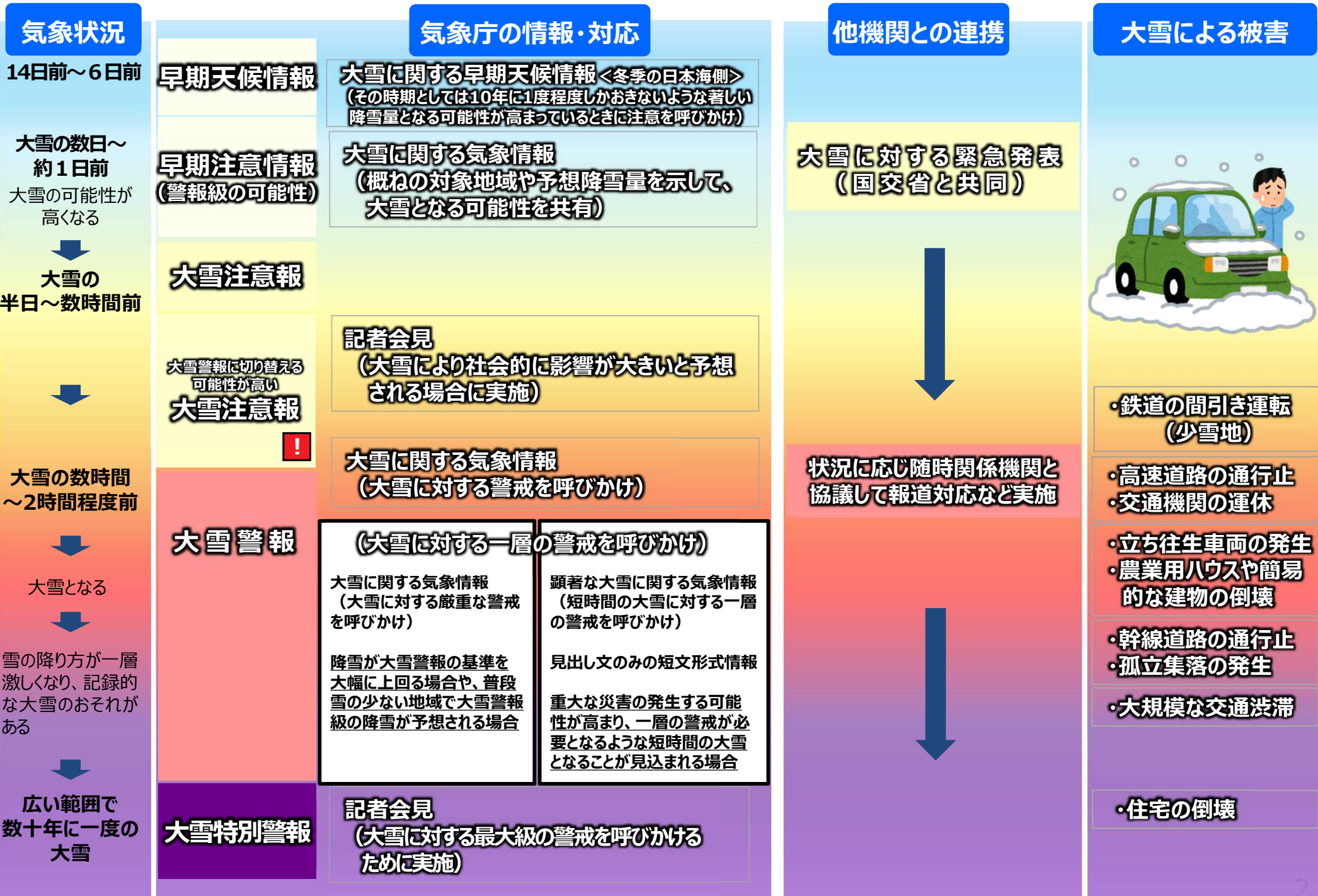


大雪に関する防災気象情報

大雪に関する防災気象情報

名古屋地方気象台

大雪のおそれに応じて段階的に発表する気象情報と対応



- その時期としては10年に1度程度しか起きないような著しい降雪量（冬季の日本海側※）となる可能性が、いつもより高まっているときに、6日前までに注意を呼びかける情報です。
- 6日先から14日先までの期間で、5日間降雪量がかなり多くなる可能性が高まっていると判断した時に発表します。最新の気象情報に留意してください。
※冬型の気圧配置に伴う降雪が卓越する日本海側を対象とし、東海地方では岐阜県の山間部を対象としています。

低温と大雪に関する早期天候情報（東海地方）

令和5年1月16日14時30分 名古屋地方気象台 発表

東海地方 1月23日頃から かなりの低温

かなりの低温の基準：5日平均地域気温平年差－1.9℃以下

東海地方の気温は、22日頃までは平年並か高いですが、その後は寒気の影響を受けやすくなるため平年並か低い日が多く、23日頃からはかなり低くなる可能性があります。また、23日頃からは岐阜県山間部を中心に降雪量がかなり多くなる可能性があります。

農作物の管理や、水道管の凍結、除雪の対応などに注意してください。また、今後の気象情報等に留意してください。

<参考>

この期間の主な地点の5日間降雪量の平年値は、以下のとおりです。

白川	58センチ
高山	19センチ
長滝	38センチ

- 警報級の現象が5日先までに予想されているときには、その可能性を「早期注意情報(警報級の可能性)」として [高]、[中] の2段階で発表しています。
- 警報級の現象は、ひとたび発生すると命に危険が及ぶなど社会的影響が大きいいため、可能性が高いことを表す [高] だけでなく、可能性が高くはないが一定程度認められることを表す [中] も発表しています。
- 府県気象情報の内容と合わせて確認してください。

令和5年1月23日11時発表

愛知県西部の早期注意情報(警報級の可能性)

愛知県西部		01/23 11:00発表					01/23 11:00発表			
		23日		24日			25日	26日	27日	28日
		夕方まで 12-18	夜~明け方 18-24	朝~夜遅く 0-6	6-12	12-24				
大雨	警報級の可能性	-	-	-		-	-	-	-	
	1時間最大雨量(ミリ)	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	-	-	-	
	3時間最大雨量(ミリ)	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下	-	-	-	
	24時間最大雨量(ミリ)	斜線	斜線	50以下			-	-	-	
大雪	警報級の可能性	-	-	-		[中]	-	-	-	
	6時間最大降雪量(センチ)	0	0	0	0	0	山地で1	-	-	
	24時間最大降雪量(センチ)	斜線	斜線	1から5			-	-	-	
暴風(暴風雪)	警報級の可能性	-	-	-		-	-	-	-	
	陸上 最大風速(メートル)	9以下	9以下	9以下	9以下	13	-	-	-	
	海上 最大風速(メートル)	9以下	9以下	9以下	12	18	-	-	-	
波浪	警報級の可能性	-	-	-		-	-	-	-	
	波高(メートル)	0.5	0.5	0.5	0.5	1.5	-	-	-	
高潮	警報級の可能性	-	-	-		-	-	-	-	

令和5年1月24日05時発表

愛知県西部の早期注意情報(警報級の可能性)

愛知県西部		01/24 05:00発表					01/23 17:00発表		
		24日		25日			26日	27日	28日
		夕方まで 6-12	12-18	夜~明け方 18-24	0-6	朝~夜遅く 6-24			
大雨	警報級の可能性	-	-	-		-	-	-	
	1時間最大雨量(ミリ)	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下	-	-	
	3時間最大雨量(ミリ)	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下	-	-	
	24時間最大雨量(ミリ)	斜線	斜線	斜線	50以下		-	-	
大雪	警報級の可能性	-	-	[中]	[中]	-	-	-	
	6時間最大降雪量(センチ)	0	0	3	2	2	-	-	
	24時間最大降雪量(センチ)	斜線	斜線	斜線	1から5		-	-	
暴風(暴風雪)	警報級の可能性	-	-	[中]	-	-	-	-	
	陸上 最大風速(メートル)	10	13	13	10	9以下	-	-	
	海上 最大風速(メートル)	16	18	20	16	12	-	-	
波浪	警報級の可能性	-	-	-		-	-	-	
	波高(メートル)	0.5	1.5	1.5	1.5	0.5	-	-	
高潮	警報級の可能性	-	-	-		-	-	-	

- 警報・注意報に先立って大雪への注意や警戒を呼びかけます。早期注意情報（警報級の可能性）と合わせて確認してください。
- 大雪に関する愛知県気象情報 第1号（以下に、見出し文のみを抜粋して転載）
 - 令和5年1月23日16時07分 名古屋地方気象台発表
愛知県では、**24日から25日にかけて強い冬型の気圧配置となり、平地でも雪が降り大雪となる所がある**でしょう。**大雪や路面の凍結による交通障害に注意・警戒**してください。
- 大雪と強風に関する愛知県気象情報 第2号
 - 令和5年1月24日05時51分 名古屋地方気象台発表
愛知県では、**25日にかけて強い冬型の気圧配置となり、平地でも雪が降り大雪となる所がある**でしょう。また**海上では非常に強い風が吹く見込み**です。**大雪や路面の凍結による交通障害、強風に注意・警戒**してください。
- 大雪と風雪に関する愛知県気象情報 第3号
 - 令和5年1月24日16時40分 名古屋地方気象台発表
愛知県では、**25日にかけて強い冬型の気圧配置となり、大雪となる所がある**でしょう。また**24日は、海上では非常に強い風が吹く見込み**です。**大雪や路面の凍結による交通障害、強風に注意・警戒**してください。
- 大雪に関する愛知県気象情報 第4号
 - 令和5年1月25日05時32分 名古屋地方気象台発表
愛知県では、**25日まで強い冬型の気圧配置が続くため、大雪となる所がある**でしょう。**大雪や路面の凍結による交通障害に注意・警戒**してください。

- 普段とは異なる顕著な降雪や猛吹雪が予想される場合、普段降雪が少ない地域においてまとまった降雪が予想される場合など、大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こすおそれのある大雪が予想される場合には、国土交通省と気象庁が共同して記者会見を開き、車両の立ち往生などに対して一層の警戒を呼びかけます。
- 各地方でも地方整備局と気象台、高速道路事業者等と共同して記者会見や記者発表を行い警戒を呼びかけます。

- 令和4年12月22日：中部運輸局はじめ5機関による
23日から24日にかけて大雪に関する
警戒を呼びかける合同会見
- 令和4年12月28日：中部運輸局はじめ6機関による
年末年始の大雪に関する交通障害に
警戒を求める共同の呼びかけ
- 令和5年1月20日：中部運輸局はじめ6機関による
大雪に関する共同の呼びかけ
- 令和5年1月23日：中部運輸局はじめ6機関による
大雪に関する警戒を呼びかける合同会見

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和5年1月23日
中部地方整備局
中部運輸局
北陸信越運輸局
名古屋地方気象台
中日本高速道路(株)
名古屋高速道路公社

大雪による交通障害に警戒・注意を

- 24日から25日にかけて、冬の気圧配置が強まり、日本の上空にはこの冬一番の強い寒気が流れ込む見込みです。このため、岐阜県の山地を中心に大雪となる見込みです。また、東海地方の平地や長野県南部でも大雪となるおそれがあります。【別紙1】
- 昨年12月のクリスマス寒波では、冬用タイヤ未装着の車両による大きな走行速度低下がありました。大雪の場合に、やむを得ず車で外出される場合は、冬用タイヤの装着やタイヤチェーンの携行及び早期装着などのご協力をお願いします。【別紙2】
- 特に大型車については、事故や立ち往生が発生した場合の影響が大きいため、十分な装備の確認等、安全を確保するために必要な措置をお願いします。
- 冬用タイヤの未装着等により事業用自動車立ち往生した場合、悪質な事例については、監査を実施したうえで、講じた措置が不十分と判断されれば、行政処分の対象となります。運送事業者の皆様も、冬用タイヤの装着、タイヤチェーンの携行及び早期装着を徹底して下さい。
- 公共交通機関においても、遅延や運休が発生するおそれがあります。
- あわせて、最新の気象情報及び道路情報等に注意し、十分な時間的余裕を持って行動頂くようお願いいたします。
※道路情報：直轄国道【別紙3】 高速道路【別紙4】 名古屋高速【別紙5】
- 降雪の状況によっては、除雪等のために通行止めにする場合があります。その際には通行止めする見通しが明らかになった時点で、各道路管理者より改めてお知らせさせていただきます。

- 警報は、重大な災害が発生するような警報級の現象がおおむね3～6時間先に予想されるときに発表することとしています。
- 警報級の現象が概ね6時間以上先に予想されているときには、警報の発表に先立って、警報に切り替える可能性が高い注意報を発表することとしています。
- 隣接県の大雪警報、着雪やなだれ等の注意報にも留意してください。

令和5年1月24日14時52分発表

令和5年1月24日16時18分発表

飛騨市 **【発表】なだれ, 低温, 着雪注意報**
【継続】大雪, 雷注意報
 24日夜遅くまでに大雪警報に切り替える可能性が高い

飛騨市 **【発表】大雪警報**
【継続】雷, なだれ, 低温, 着雪注意報

飛騨市	発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移(■警報級 □注意報級)										備考・ 関連する現象	
		24日					25日						
		12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
大雪	山地				■	■	■	■	■				12時間最大降雪量50センチ降雪による交通障害
	平地				■	■	■	■	■				12時間最大降雪量20センチ降雪による交通障害
雷													突風
着雪													
なだれ													26日にかけて以後も注意報級
低温													以後も注意報級 水道凍結

飛騨市	発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移(■警報級 □注意報級)										備考・ 関連する現象	
		24日					25日						
		15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18			
大雪	山地				■	■	■	■	■				12時間最大降雪量50センチ降雪による交通障害
	平地				■	■	■	■	■				12時間最大降雪量20センチ降雪による交通障害
雷													突風
着雪													
なだれ													26日にかけて以後も注意報級
低温													以後も注意報級 水道凍結

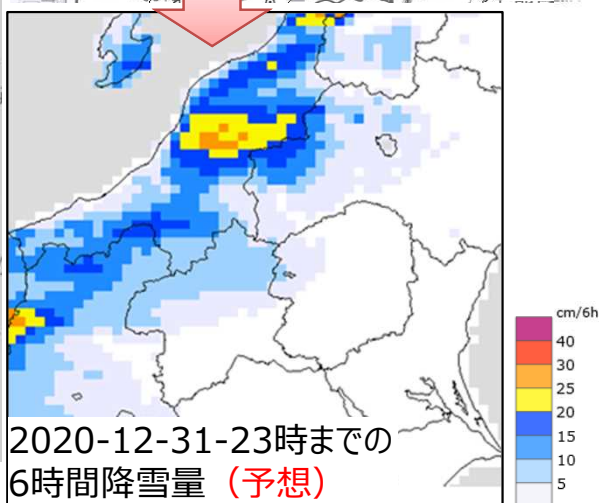
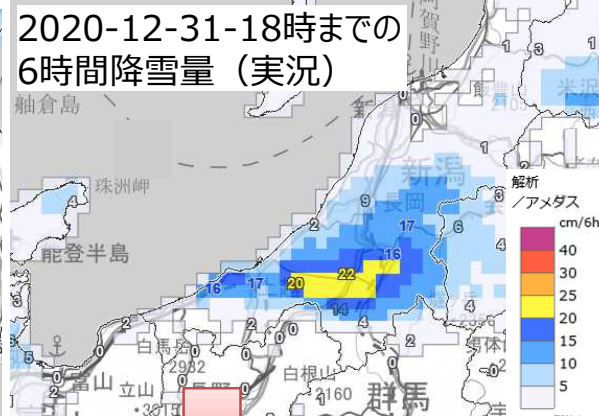
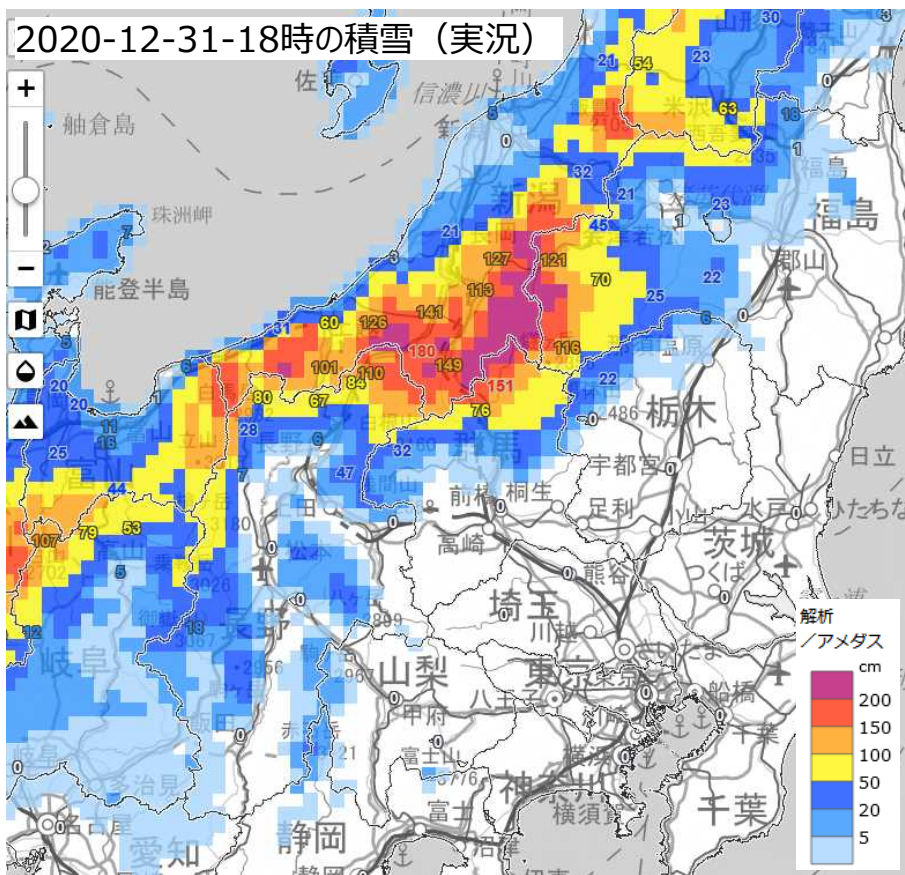
関ヶ原町 **【発表】風雪, 低温, 着雪注意報**
【継続】大雪, 雷注意報
 24日夜遅くまでに大雪警報に切り替える可能性が高い

関ヶ原町 **【継続】大雪, 風雪, 雷, 低温, 着雪注意報**
 25日未明までに大雪警報に切り替える可能性が高い

関ヶ原町	発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移(■警報級 □注意報級)										備考・ 関連する現象	
		24日					25日						
		12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
風雪	風向風速 (矢印・メートル)	10	12	12	12								
大雪	平地				■	■	■	■	■				12時間最大降雪量20センチ降雪による交通障害
雷													突風
着雪													
低温													以後も注意報級 水道凍結

関ヶ原町	発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移(■警報級 □注意報級)										備考・ 関連する現象	
		24日					25日						
		15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18			
風雪	風向風速 (矢印・メートル)	12	12	12									
大雪	平地				■	■	■	■	■				12時間最大降雪量20センチ降雪による交通障害
雷													突風
着雪													
低温													以後も注意報級 水道凍結

- 解析積雪深・解析降雪量と組み合わせて、6時間先までの積雪深や降雪量の予測分布が確認できるようになります。雪による交通への影響等を前もって判断いただくための情報としてご利用ください。
- この情報は1cm単位で活用いただくことを想定していません。今後数時間先までの積雪の深さ・降雪量の予想分布の傾向を把握するための資料としてご利用ください。



今夜はまだ降りそうだ・・・
通行止めになると困るし、
車はやめておこう。
帰るのは来週にしよう。

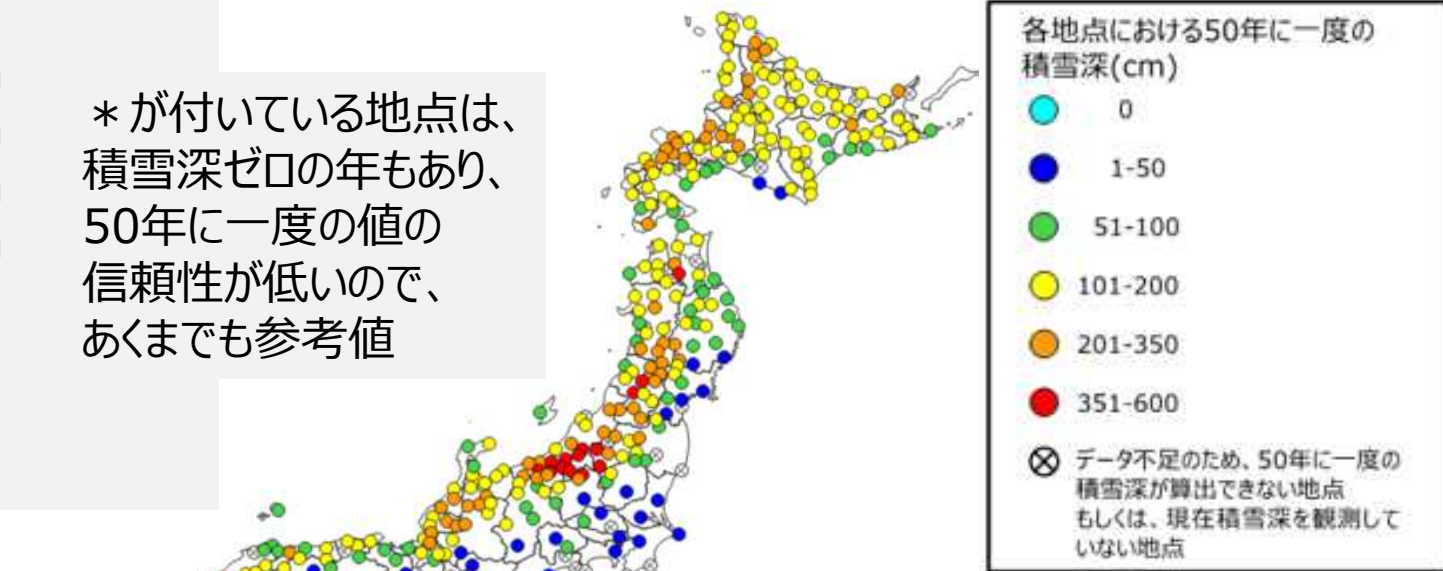


- 記録的な大雪（府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深）となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合には、大雪特別警報を発表します。

主な地点の50年に一度の積雪深

福井県	福井	165cm
福井県	今庄	248cm
岐阜県	高山	111cm
岐阜県	白川	341cm
岐阜県	関ヶ原	102cm
岐阜県	岐阜	42cm
愛知県	名古屋	23cm*
三重県	津	13cm*

*が付いている地点は、積雪深ゼロの年もあり、50年に一度の値の信頼性が低いので、あくまでも参考値



指標(発表条件)を満たす主な事例

昭和38年1月豪雪	死者・行方不明者231人 住家全半壊1,735棟 床上・床下浸水6,978棟
昭和56年豪雪	死者・行方不明者152人 住家全半壊466棟 床上・床下浸水8,097棟

(注)50年に一度の積雪深の値が小さな地域については、既往最深積雪深の値なども用いて指標(発表条件)を設定する。

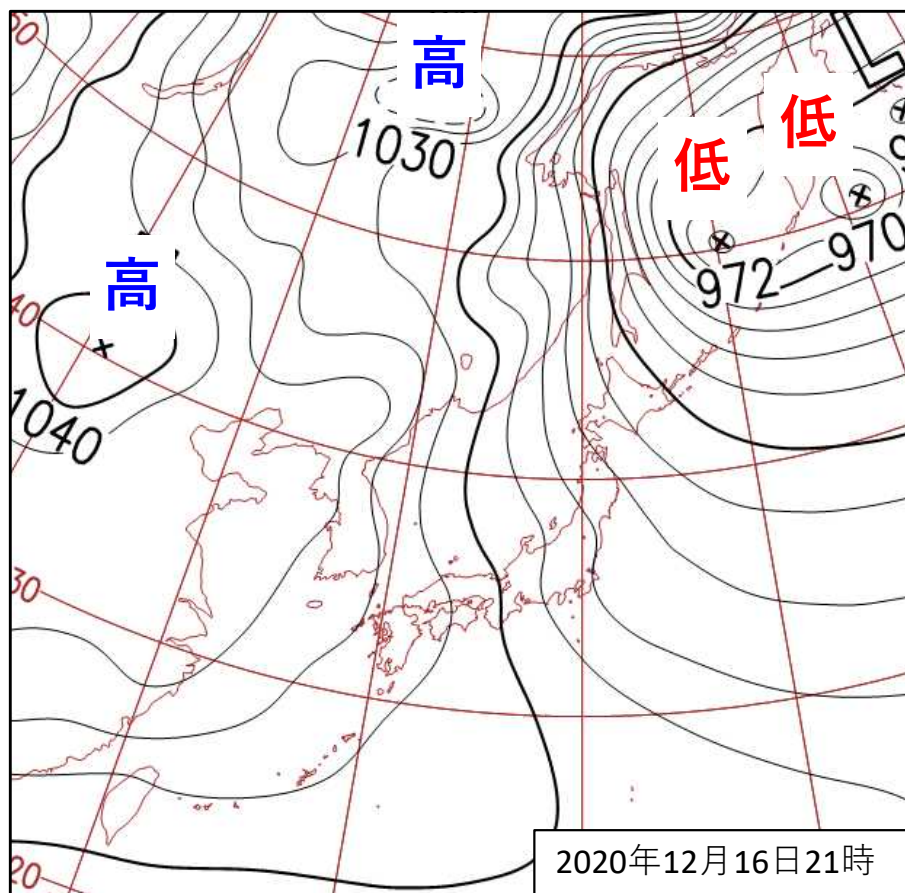
降雪による災害は
交通機能や都市
機能の麻痺を引き
起こし、
地域の経済活動に
影響を与えます。*

最新の気象情報、
警報・注意報をもと
に早い段階から、必
要な準備をできるだ
け行ってください。



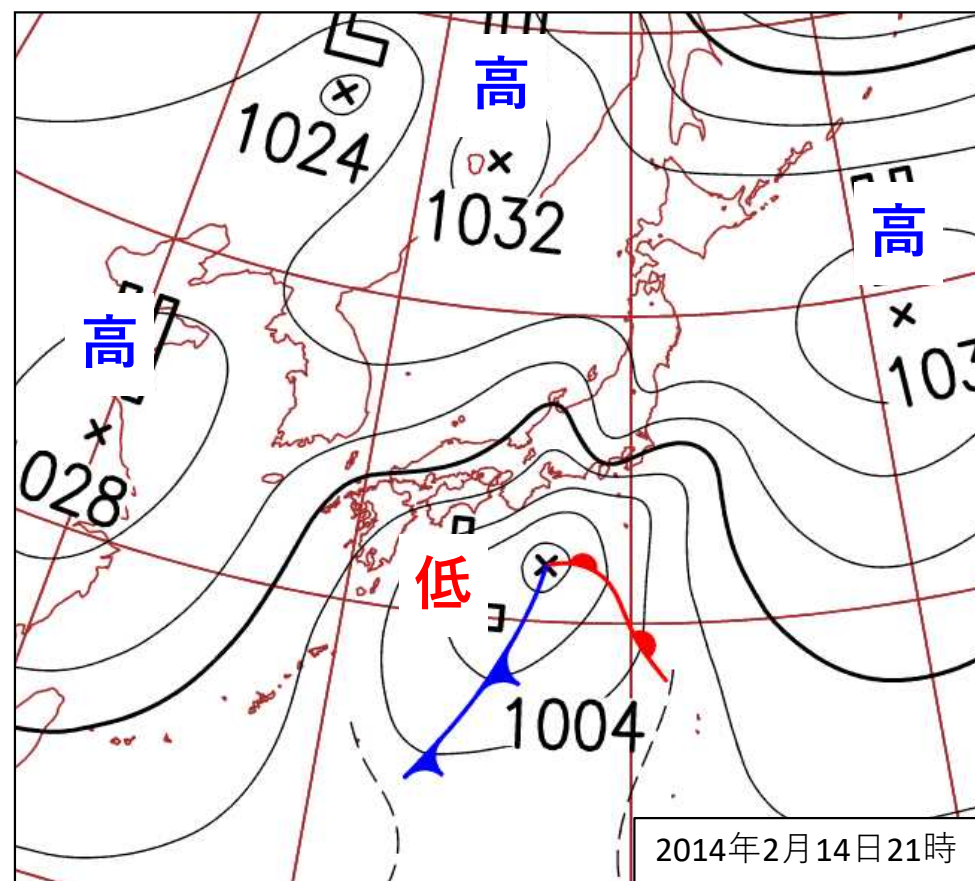
参考資料

冬型の気圧配置による大雪



大陸に高気圧、千島列島方面に低気圧があって、等圧線が縦じまになり、日本海側中心に大雪になる。

南岸低気圧による大雪



日本の南岸を低気圧が東へ進み、太平洋側中心に大雪になる。

東海地方では、事例数は少ないが、平野部の広い範囲で積雪となる場合がある。

顕著な大雪に関する気象情報（短時間の大雪に対する一層の警戒を呼びかけ）

重大な災害の発生する可能性が高まり、一層の警戒が必要となるような短時間の大雪となることが見込まれる場合に発表する気象情報

- 降雪量（実況値）と今後の見通しを記載した短文形式の気象情報
- 令和元年12月から、新潟県、富山県、石川県、福井県、福島県（会津地方）、山形県で運用を開始し、令和3年12月からは、滋賀県、兵庫県、京都府、広島県、岡山県、島根県、鳥取県でも運用を開始しています。

【発表の目安】

対象	6時間降雪の深さが警報基準の地域		12時間降雪の深さが警報基準の地域	
	3時間（観測）	6時間（予測）	6時間（観測）	12時間（予測）
北陸地方、山形県、近畿地方、中国地方	20～25センチ	30～40センチ	20～45センチ	25～70センチ
福島県（会津）	3時間降雪量20～25センチまたは6時間降雪量30～40センチを観測、24時間降雪量80～110センチに到達すると予測した場合			

目安は地域の最小値と最大値を表記していますので、個々の観測地点ごとに値が異なります。観測実況値はアメダス等の値を使います。過去の交通障害などと、そのときの観測値を検証して発表の目安を設定します。目安は情報の効果を検証して適宜、見直します。

大雪に関する気象情報（大雪に対する厳重な警戒を呼びかけ）

降雪が大雪警報の基準を大幅に上回る場合や、普段雪の少ない地域で大雪警報級の降雪が予想され、重大な災害の発生の可能性が高まり、一層の警戒が必要となる場合に発表する気象情報

- 厳重な警戒を呼びかける、文章形式または見出し文のみの短文形式の気象情報

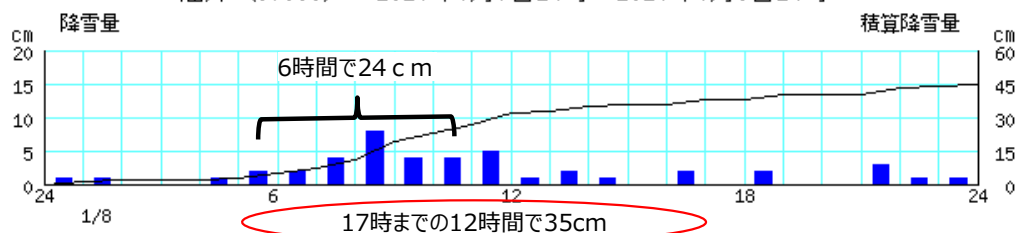
顕著な大雪に関する気象情報の発表例

2021年1月7日以降11日にかけて、北日本から西日本にかけての日本海側を中心に断続的に強い雪が降りました。発達した雪雲が流れ込み続けた、新潟、富山、石川、福井では、7日から9日にかけて「顕著な大雪に関する気象情報」を発表して警戒を呼びかけました。

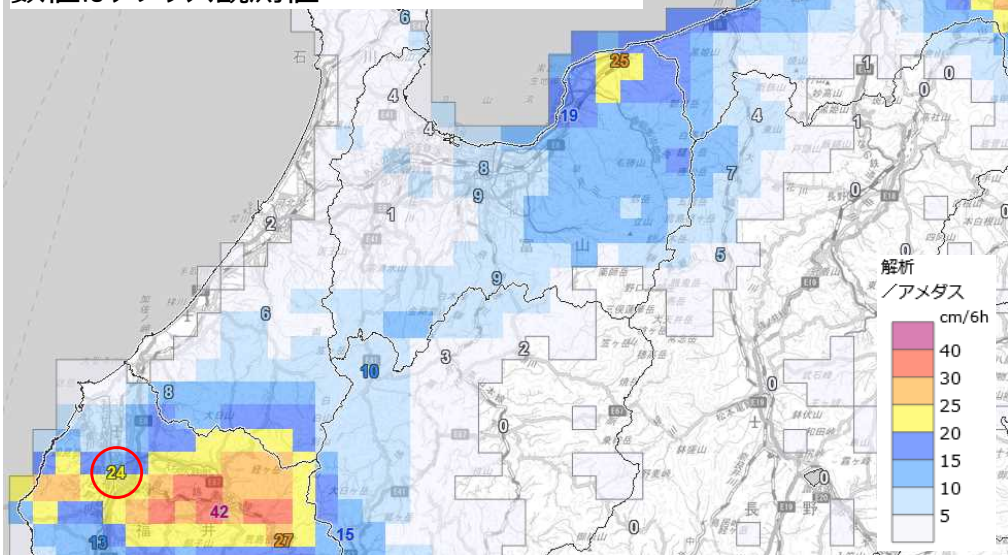
顕著な大雪に関する福井県気象情報 第12号
令和3年1月8日11時32分 福井地方気象台発表
(見出し)

福井市で8日11時までの6時間で24センチの顕著な降雪を観測しました。この強い雪は9日にかけて続く見込みです。嶺北では、大規模な交通障害の発生するおそれが高まっています。

福井 (57066) 2021年1月7日24時～2021年1月8日24時



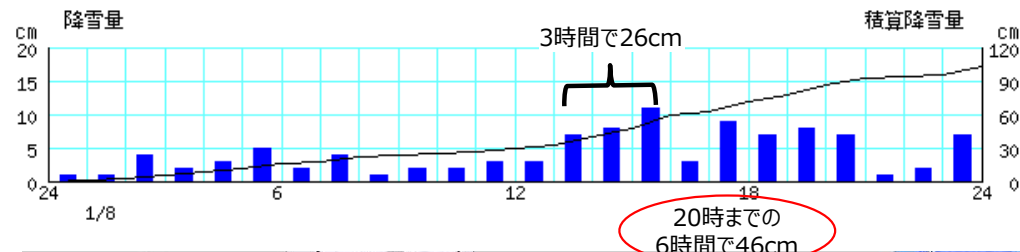
2021-1-8-11時の解析降雪量 (6時間)
数値はアメダス観測値



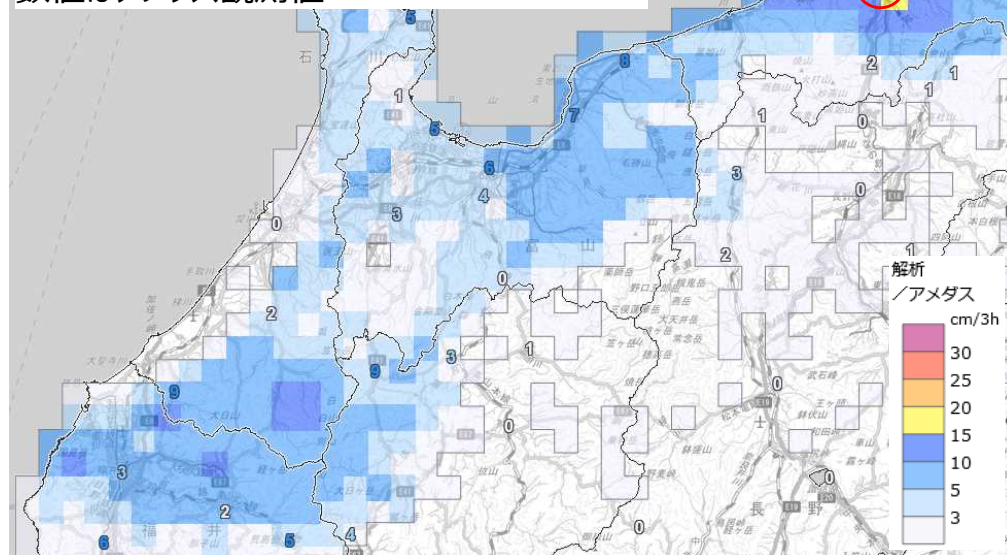
顕著な大雪に関する新潟県気象情報 第10号
令和3年1月8日16時22分 新潟地方気象台発表
(見出し)

上越市高田では、8日16時までの3時間に26センチの顕著な降雪を観測しました。この強い雪は9日夕方にかけて続く見込みです。上越の平地では、大規模な交通障害の発生するおそれが高まっています。

高田 (54651) 2021年1月7日24時～2021年1月8日24時



2021-1-8-16時の解析降雪量 (3時間)
数値はアメダス観測値



大雪時の道路交通確保対策

中部地方整備局 道路部

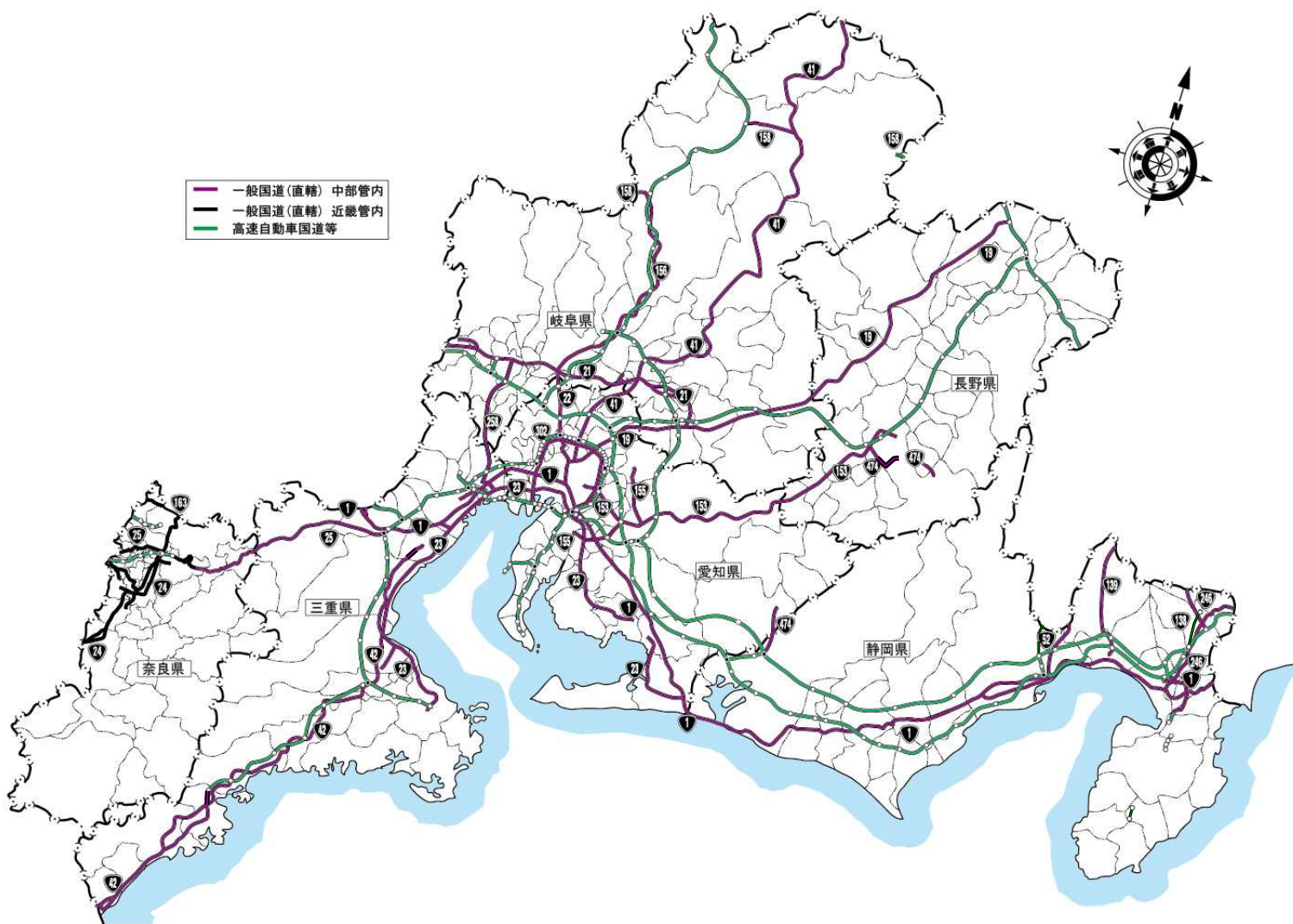
令和5年12月1日(金)

中部地方整備局が管理する国道

愛知、岐阜、三重、静岡、長野(南信)、奈良県内の21路線、合計 約1,860km

【中部地方整備局管内指定区間】

【中部地方整備局が管理する路線一覧】



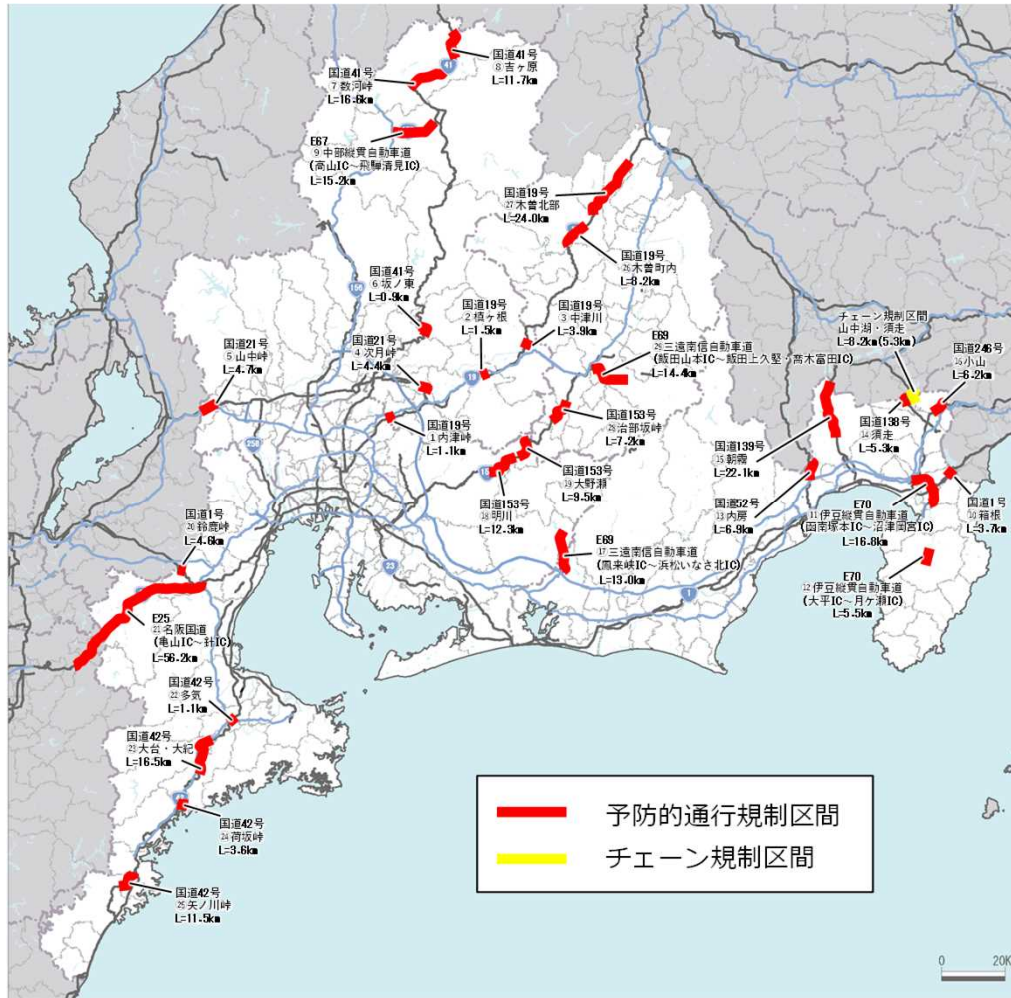
路線名	管理延長(km)
国道1号	370
国道19号	179
国道21号	98
国道22号	28
国道23号	215
国道25号	58
国道41号	212
国道42号	167
国道52号	19
国道138号	17
国道139号	37
国道153号	124
国道155号	32
国道156号	75
国道158号	26
国道246号	36
国道258号	42
国道302号	59
国道414号	9
国道474号	41
新直轄(紀勢線)	21
中部計	1,863

※管理延長は、令和5年4月1日現在。
四捨五入により合計は一致しない

降雪による予防的通行規制区間

○降雪時において過去に立ち往生車により通行止めした箇所を含む区間から抽出
○29区間、総延長308.6kmを設定

令和5年10月現在



※位置図に示す区間以外においても、降雪状況等を踏まえ、通行止めを行う場合あり

県名	事務所	路線番号	箇所名	延長(km)	起点	終点	通行止め回数
岐阜県	①多治見	19号	内津峠	1.1	31.7kp	32.8kp	1
	②多治見	19号	横ヶ根	1.5	66.8kp	68.3kp	0
	③多治見	19号	中津川	3.9	86.4kp	90.3kp	3
	④多治見	21号	次月峠	4.4	7.5kp	11.9kp	0
	⑤岐阜	21号	山中峠	4.7	83.5kp	88.2kp	3
	⑥岐阜	41号	坂ノ東	0.9	72.9kp	73.8kp	0
	⑦高山	41号	数河峠	16.6	180.7kp	197.3kp	0
	⑧高山	41号	吉ヶ原	11.7	203.1kp	214.8kp	0
	⑨高山	E67	中部縦貫自動車道 (高山IC～飛騨清見IC)	15.2	10.2kp	25.4kp	3
静岡県	⑩沼津	1号	箱根	3.7	103.0kp	106.7kp	0
	⑪沼津	E70	伊豆縦貫自動車道 (函南塚本IC～沼津岡宮IC)	16.8	109.6kp	126.4kp	0
	⑫沼津	E70	伊豆縦貫自動車道 (大平IC～月ヶ瀬IC)	5.5	0.0kp	5.5kp	0
	⑬静岡	52号	内房	6.9	12.5kp	19.4kp	1
	⑭沼津	138号	須走	5.3	15.3kp	20.6kp	2
	⑮静岡	139号	朝霧	22.1	14.5kp	36.6kp	1
	⑯沼津	246号	小山	6.2	89.4kp	95.6kp	0
	⑰浜松	E69	三遠南信自動車道 (鳳来峡IC～浜松いなさ北IC)	13.0	86.0kp	99.0kp	0
	愛知県	⑱名古屋	153号	明川	12.3	49.9kp	62.2kp
⑲名古屋		153号	大野瀬	9.5	62.9kp	72.4kp	0
三重県		⑳三重	1号	鈴鹿峠	4.6	429.3kp	433.9kp
三重県 奈良県	㉑北勢	E25	名阪国道 (亀山IC～針IC)	56.2	0.0kp	78.3kp	1
	三重県	㉒紀勢	42号	多気	1.1	138.1kp	139.2kp
㉓紀勢		42号	大台・大紀	16.5	149.9kp	166.4kp	0
㉔紀勢		42号	荷坂峠	3.6	178.9kp	182.5kp	0
㉕紀勢		42号	矢川峠	11.5	215.5kp	227.0kp	0
長野県 (南信)		㉖飯田	19号	木曾町内	8.2	133.3kp	141.5kp
	㉗飯田	19号	木曾北部	24.0	147.4kp	171.4kp	4
	㉘飯田	153号	治部坂峠	7.2	89.6kp	96.8kp	0
	㉙飯田	E69	三遠南信自動車道 (飯田山本IC～飯田上久堅・喬木富田IC)	14.4	0.2kp	14.6kp	0

「予防的通行規制区間」：308.6km

24回

※規制回数：R2～R4

■ 道路管理者の責務として、交通の危険を防止するため、区間を定めて、道路の通行を禁止又は制限することができる(道路法第46条第1項の規定に基づく交通規制措置)

<令和2年度までの考え方>

- 「自らが管理する道路をできるだけ通行止めにはしないこと」
- 「交通機能の確保の観点から高速道路と並行する国道等を交互に通行止め」



通行止めを躊躇した結果、

- 大規模な車両滞留繰り返し発生
- 解消までに数日間を要するケースあり



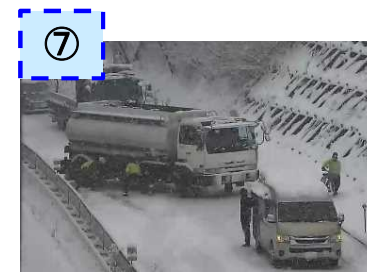
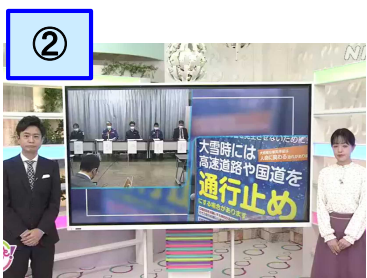
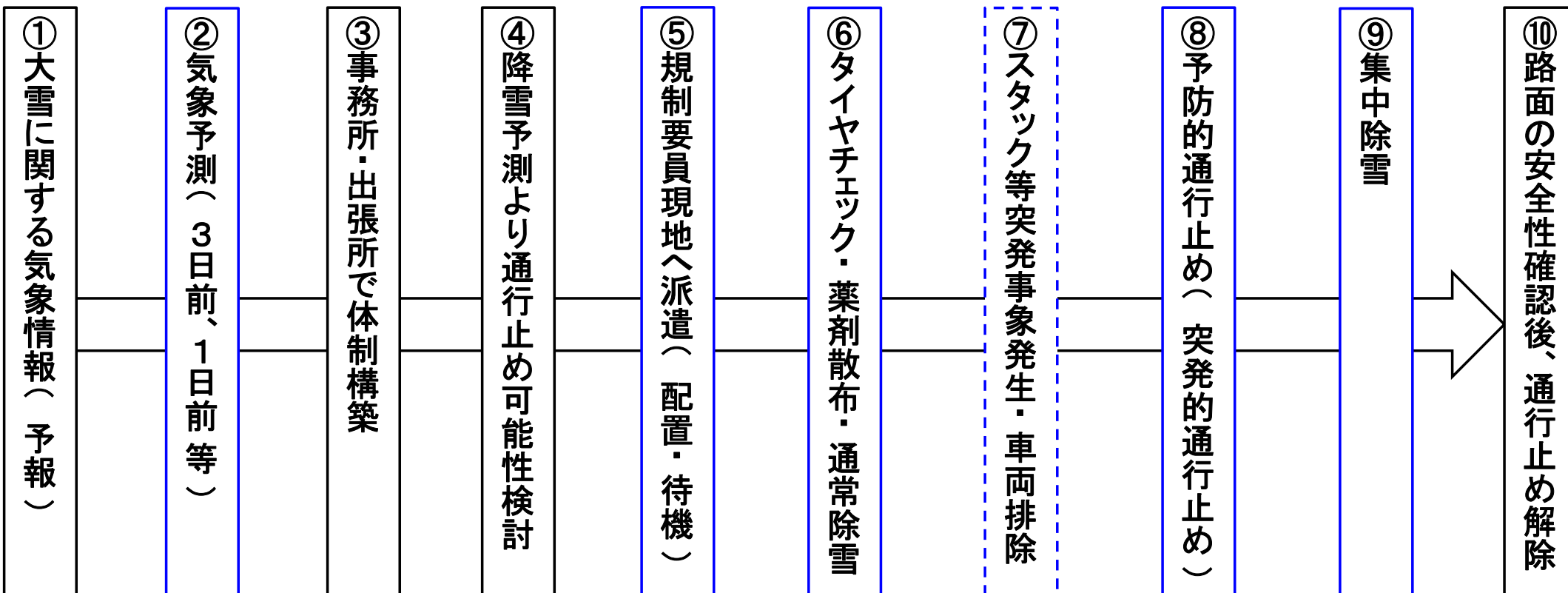
事例: 令和2年12月、関越自動車道で、2,000台を超える大規模な立ち往生が発生、車両移動や通行止め解除に2日以上要した

<令和3年度からの基本的な考え方>

- 「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」

「出来るだけ止めない」から「**人命最優先に車両滞留を徹底的に回避**」に転換
⇒ **躊躇ない通行止めを実施**

大雪時の大まかなタイムスケジュール



【大雪見込み段階】大雪時における対応

- 大雪に関する予報が出た場合、道路利用者に対し注意喚起を促す呼びかけを実施
- 出控えや躊躇ない通行止め等、関係機関合同で記者会見の開催やSNSで広く警戒を呼びかけ



不要不急の外出控えるよう呼びかけ
交通障害に警戒を

東北
関東
北陸
中部
近畿
中国
四国
九州

冬タイヤ未装着車は
立ち往生の原因
となります

大規模な車両滞留を

不要不急の外出控え 車で外出する場合は
冬用タイヤ装着・タイヤチェーン携行

※大規模な車両滞留を回避するため、最大限の対策を

大雪 高速道路「躊躇なく通行止め」に方針転換

大規模立往生受け

ツイート

国土交通省 中部地方整備局 道路部 @mlit_chubu_road

1月24日から25日にかけて、東海地方の平地等でも大雪となるおそれあり！
大雪の際は、不要不急の外出をお控えください。
やむを得ず車で外出される場合は、冬用タイヤの装着やタイヤチェーンの携行及び早期装着を！
また最新の気象情報・道路情報をご確認ください。
#いのちとくらしをまもる防災減災

大雪による交通障害に警戒・注意を

午後9:14 · 2023年1月23日 · 1.1万 件の表示

ツイート

国土交通省 中部地方整備局 道路部 @mlit_chubu_road

雪道では #冬用タイヤ 等必ず装着を！
雪道での #ノーマルタイヤ は非常に危険です。
スタッドレスタイヤであっても経年劣化したタイヤでは #スタック する可能性があります。
道路が走行出来なくなれば #滞留 が発生し、多くの人に迷惑をかけるため、冬用タイヤやタイヤチェーンを装着下さい。

雪道をノーマルタイヤで走行することは
非常に危険です。

041 1.3万 件の表示

午後1:18 · 2023年2月2日 · 7.2万 件の表示

新たな方針

「人命最優先 車の立往生など予想時は
躊躇なく通行止め実施」

【予防・準備段階】大雪時における対応

- 凍結・降雪の見込み時に、タイヤチェックや凍結防止剤の散布等、予防対策を行い安全を確保
- 規制要員を現地へ派遣し、規制に必要な準備を業者と連携し行い、通行止めへ備え



スタック予防のためタイヤチェック実施



規制準備状況



凍結防止の薬剤を手撒き散布



通行止め状況説明・誘導

【通行止め実施段階】大雪時における対応

- 現地対応は、気象状況の悪化や昼夜問わず、応援部隊を含め、規制解除まで対応
- 車道にて安全に留意しながら、交通誘導や状況説明を1台ずつに実施



大雪による視界不良の中での交通誘導



危険を顧みず1台ずつ丁寧に状況説明



危険度が増す夜間も規制要員として対応



降雪もなく通行規制に対するドライバーからの罵声

【突発事象発生段階】大雪時における対応

- 突発的に、スタックや車両の立ち往生が発生した場合、通行止め要員以外で現場対応
- スタック車両の脱出の手助けや、長時間の立ち往生車両への物資支援等を対応



スタック車両の脱出手助け



職員による立ち往生車両への物資支援



ノーマルタイヤ車をチェーン装着箇所まで牽引



職員による物資配布状況

【予防・準備段階】降雪時に向けた準備

- 大雪時等におけるスタック車両の排除訓練を実施。
- 道路法46条第1項、災害対策基本法第76条の6による通行止め及び放置車両の排除。

高压洗浄車での除雪作業



JAFによる
キーロック解除



凍結防止剤散布車での牽引



簡易移動装置による車両移動



レッカー車での牽引

【大雪】R3・R4年度 雪害体制・通行止め実績

- 急勾配区間などスタックした箇所をもとに、予防的通行規制区間(29区間)を事前に設定し周知
- 直轄国道における通行止め実績は、R3(8箇所 113時間)、R4(12箇所 138時間)

R3年度

R4年度



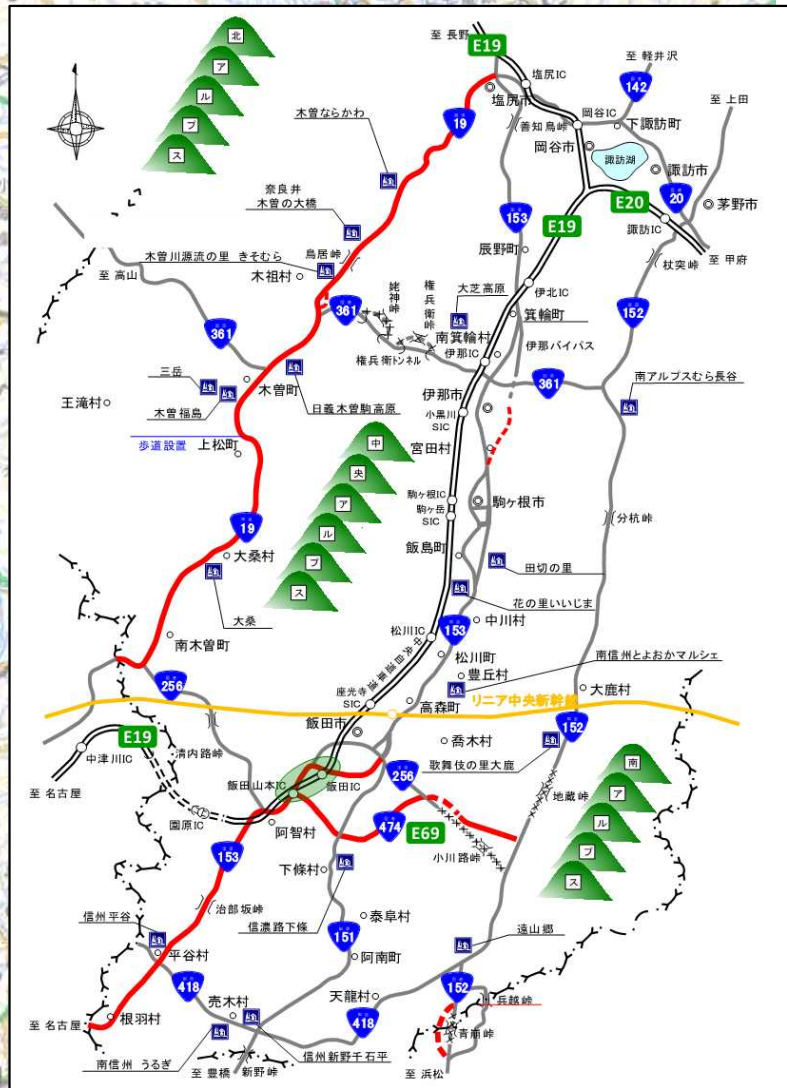
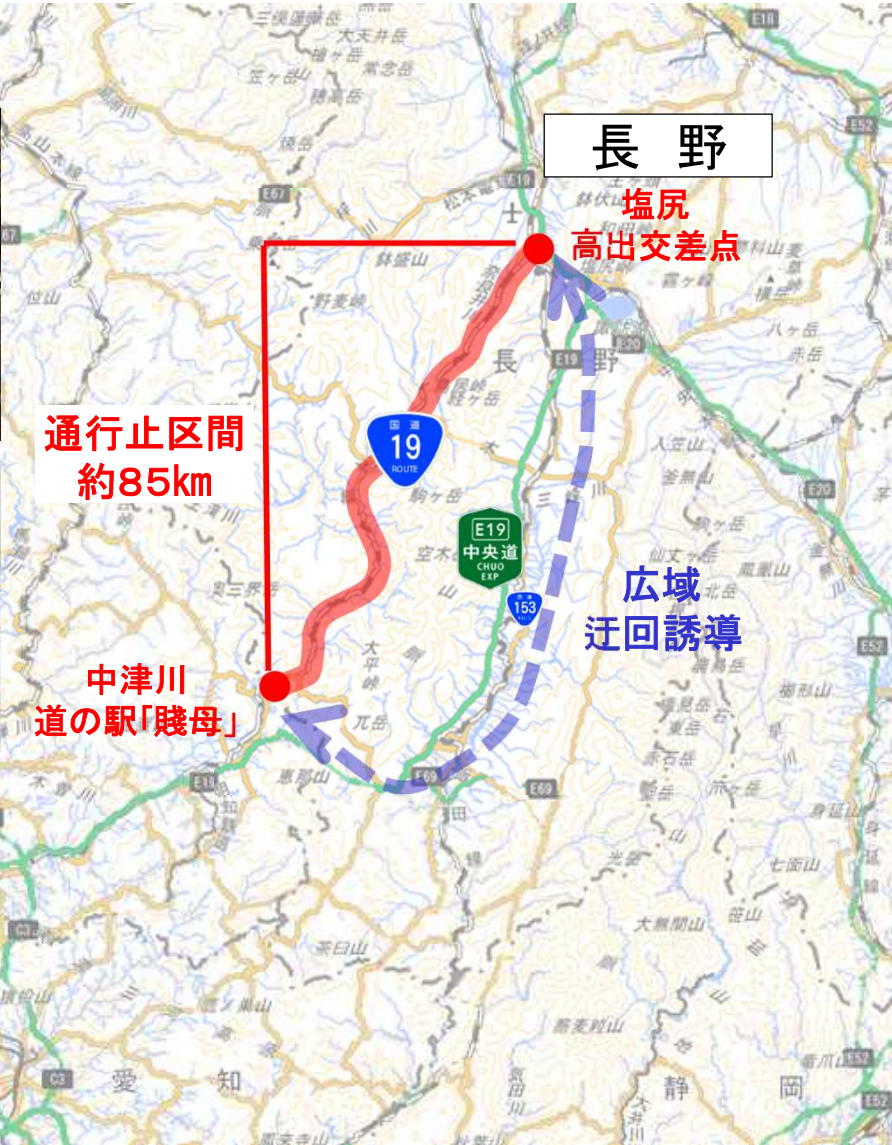
【①東西主要交通規制】E25名阪国道通行止め

- 名古屋－大阪間の東西軸を担う主要3路線（名神・新名神・名阪）の大動脈について、降雪状況等によっては通行止めを行い交通を規制する可能性あり
- 名阪国道の自動車専用道路のように交通量（大型車）が多い箇所でも通行止めの対応を実施



【②広域迂回】国道19号(塩尻～中津川) 通行止め

- 地方・山間部を通過する国道では、長い区間の通行止めやそれに伴う広域迂回の誘導が必要
- 国道19号(塩尻～中津川間)の場合、約85kmの大規模な通行止めを行い、迂回を実施
- R3・R4で計3回・延べ36時間、職員が業者と連携し、通行止め及び交通誘導等に対応



名古屋

【③同時通行止め】国道156号と東海北陸道

- 高速道路と並行している国道では、高速道路で事故や視界不良等により、先行して通行止めをした場合、一般道へ車両が降りてきて交通が集中
- その結果、一般道で滞留が発生することから、高速道路と連動し同時に止めるよう調整
- 国道156号では、R3・R4で計2回・延べ31時間の通行止め規制を実施



大雪時の通行規制情報の発表

人命を最優先に大規模な車両滞留を 徹底回避!!

事前に 高速道路や国道を 通行止めします

大雪が予想される場合、

広域的な迂回をお願いします。

大雪予想時は不要不急の外出をお控えください。

通行止めに関する情報は冬のドライブナビ中部をご確認ください。

便利な冬の道路情報ポータルサイト

冬のドライブナビ中部
https://www.cbr.mlit.go.jp/road/fuyumichi.html

国土交通省 中部地方整備局

YouTube 配信中!

動画はこちら

冬のドライブナビ中部

道路番号 #9910

国土交通省 中部地方整備局

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

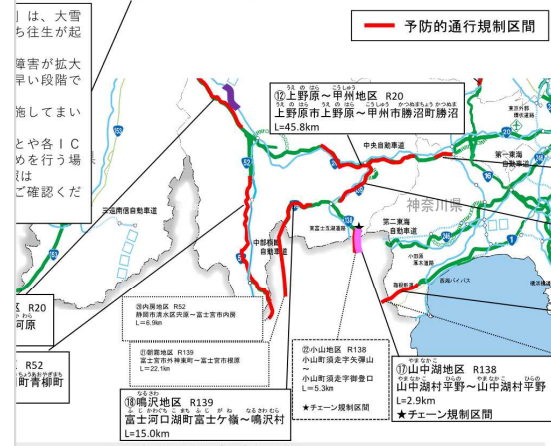
令和 5年 2月 9日

山梨・静岡雪水対策連絡協議会
静岡国道事務所
沼津河川国道事務所
甲府河川国道事務所
中日本高速道路(株)
山梨県
静岡県
静岡地方气象台
甲府地方气象台

大雪による交通障害に警戒・注意を

- 2月10日朝方から11日未明にかけて、南岸低気圧の通過に伴い山梨県、静岡県の県境の標高が高い地域を中心に、降雪量が累計10～40cm程度の大雪となる見込みです。
- 降雪の状況によっては、山梨県、静岡県の県境の標高が高い地域の道路が通行止めとなる可能性が高い状況です。隣接する道路管理者間で調整のうえ、通行止めとなる見通しが明らかになった時点で、各道路管理者より改めてお知らせいたします。
- 雪の予報が出ている地域への不用不急の外出は控えてください。
- 1月下旬の寒波では、大規模な交通障害が発生しました。やむを得ず降雪が予報されている地域へ向かう際には、冬用タイヤの装着やタイヤチェーン等の携行及び早期装着などのご協力をお願いします。あわせて、スタックからの脱出作業に備えて毛布、スコップ、懐中電灯なども携行してください。
- 特に大型車については、事故や立ち往生が発生した場合の影響が大きいため、十分な装備の確認等、安全を確保するために必要な措置をお願いします。
- 最新の気象情報及び道路情報等に注意し、十分な時間的余裕を持って行動いただくをお願いします。

「予防的通行規制区間」位置図



予防的通行規制区間

名	都道府令市	路線	箇所名	延長 (km)
山梨県	20	上野原～甲州地区		45.8
山梨県・長野県	20	荻崎～北社地区・富士見地区		41.6
山梨県	52	南部～富士川地区		51.4
山梨県	138	山中湖地区		2.9
山梨県	139	鳴沢地区		15.0
山梨県	139	富士吉田～大月地区		18.4
静岡県	52	内房～山梨県境		6.9
静岡県	139	外神～山梨県境		22.1
静岡県	138	小山町須走		5.3

(チェーン規制を実施する区間)

○直轄国道

都道府県	路線番号	箇所名	区間	延長 (km)	道路管理者
山梨県 静岡県	国道138号	やまなかこすびり 山中湖・須走	やまなかこすびりから 山中湖村平野～小山町須走字御登口	8.2	国土交通省

○高速道路

都道府県	路線番号	道路名	区間	延長 (km)	道路管理者
山梨県	E20	ちゅうおう 中央道	すたす 須玉IC～長坂IC	8.7	NEXCO日本

雪みち情報収集サイト

○雪みち情報は、“冬のドライブなび中部”で検索

冬の道を安心・安全・快適にドライブしましょう。
冬のドライブなび中部
国土交通省中部地方整備局

そんな時のために
名古屋から高山方面に行きたいけど、凍結情報やライブカメラはどこで確認できるんだろう？

中部地域全体の道路規制情報、地域別道路情報、ライブカメラなどの役立つ情報は「冬のドライブなび中部」から簡単にアクセスできます！

便利な冬の道路情報ポータルサイト

冬の「ドライブなび中部」はこんなところが便利！
スマートフォン対応

ライブカメラ
道路の状況をカメラでリアルタイムにチェック！

リアルタイム情報
最新の凍結情報や凍結防止作業の様子をリアルタイムにチェック！

地域別道路情報
中部地方の各エリアごとの最新情報をチェック！

冬装束の備え
雪道に備えてどんな準備をすればいいの？チェック！

<https://www.cbr.mlit.go.jp/road/fuyumichi.html>
ブックマークしておくと便利です！

情報サイトへはこちらから 冬のドライブなび中部



<https://www.cbr.mlit.go.jp/road/fuyumichi.html>

○雪みち情報を各種提供、主な内容は下記

■各事務所のX「旧Twitter」へアクセス



リアルタイム情報



■ライブカメラで現地状況を確認



ライブカメラ



■道路の積雪・凍結状況を確認



積雪・凍結情報

彦谷橋 (24.60KP)		12月22日 16時 現在		
一覧表示	データ表示	地点一覧へ戻る		
	実況	1時間後予測	2時間後予測	3時間後予測
積雪深	---	---	--	--
降雪量	---	---	--	--
気温	-0.2℃	-1.4℃	-1.9℃	-2.3℃
路面状況	乾燥	---	--	--

雪道の安全確保にご理解とご協力をお願いします。

中部地方整備局では、冬期の円滑な道路交通を確保するために、除雪・凍結防止作業に取り組んでいます。

※大雪時には、通行規制や予防的な通行止めを行う場合があります。

高速道路における降雪・積雪時の災害事例とその対応

中日本高速道路(株) 名古屋支社
令和5年12月1日



2023年1月24日(火)～26日(木) 新名神高速道路での大雪時の渋滞による滞留車両発生

- 【時系列】**
- 1/24(火) 15:00 亀山西JCT付近で降雪開始
 - 17:25 京都東IC付近で降雪開始
 - 17:57 京滋バイパス(瀬田東JCT～久御山IC)で雪通行止開始
 - 19:00 名阪国道(亀山IC～天理東IC)で雪通行止開始
 - 1/25(水) 03:50 新名神で雪通行止め開始【通行止め区間延長47.8km】
(四日市JCT～亀山西JCT 上下線)
(亀山西JCT～甲賀土山IC 下り線)
(亀山JCT～亀山西JCT 下り線)
 - 12:40 京滋バイパス(瀬田東JCT～久御山IC)で通行止解除
 - 16:50 名阪国道(亀山IC～天理東IC)で通行止解除
 - 1/26(木) 06:24 新名神の渋滞最後尾の車両が動き出し
 - 08:05 新名神の渋滞解消、集中除雪開始
 - 20:40 新名神(亀山JCT～甲賀土山IC:下り)で通行止解除
 - 23:30 新名神(四日市JCT～亀山西JCT:上下)で通行止解除



- 最大渋滞長
- ① 1/24 22:38 名神_天王山TN付近～湖東三山PA付近まで約70km
 - ② 1/25 03:50 新名神_草津JCT～菟野IC付近まで約65.5km



渋滞解消・通行止め解除に向けた取組み状況

警察と連携した仮眠車両への移動案内



車両周辺の排雪作業



乗員保護

物資配布支援

○食料や燃料など乗員への物資配布支援を実施

- ・食料(カロリーメイト) 約1200個
- ・飲料水(500mLペットボトル) 約960本
- ・燃料(ガソリン) 約515L
- ・燃料(軽油) 約60L
- ・トイレ(簡易トイレ) 約4000個
- ・乳児用品(粉ミルク・液体ミルク・お湯)2個
- ・乳児用品(紙おむつ) 1個



※24班71人体制を構築して順次配布対応、声掛けを実施

乗員への声掛け、健康管理

- 社員等が車両の乗員に声掛けし、健康状況を確認
- 通行止め区間内で、体調不良を訴えた男性1名を病院搬送
- バスの中に体調不良の子供が3名いるとの申し入れにより、トイレ休憩の要望を踏まえて最寄りの休憩施設(鈴鹿PA)に延べ39名(子供32名、引率7名)を巡回車3台で複数回にわたり搬送



広報(情報提供)

ドライバー向け情報配信

○アイハイウェイ中日本(テロップ例)

【雪通行止】新名神・東海環状
【渋滞あり】新名神・名神 不要不急のお出かけはお控えください

○目で見るハイウェイテレホン(臨時情報文例)

新名神(下り)四日市JCT～甲賀土山、(上り)四日市JCT 亀山西JCT及び、(下り)亀山JCT～亀山西JCTにおいて、雪のため通行止を行っています。お急ぎのところ大変ご迷惑をおかけします。
なお、新名神(下り線)大阪方面の通行止め区間で、通行止め区間先の渋滞によりお待ちいただいております。順次流れはじめており、現在、亀山西JCT付近が流れるようになっております。
現在お待ちいただいているお客さまにおきましては、車内でお待ちいただきますようお願いいたします。

記者発表・HP公表

○通行止め区間の追加や解除について、HP上できめ細やかな情報配信を実施



Twitter

○渋滞中の対応状況等について積極的に情報配信



従来の考え方

2020年度以前の基本的な考え方

- ▶ 自らが管理する道路を出来るだけ通行止めにしたくない
- ▶ 高速道路と並行する国道等を交互に通行止めし、道路ネットワークを確保すること



現在の考え方

2021年度からの基本的な考え方※

- ▶ 人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避する

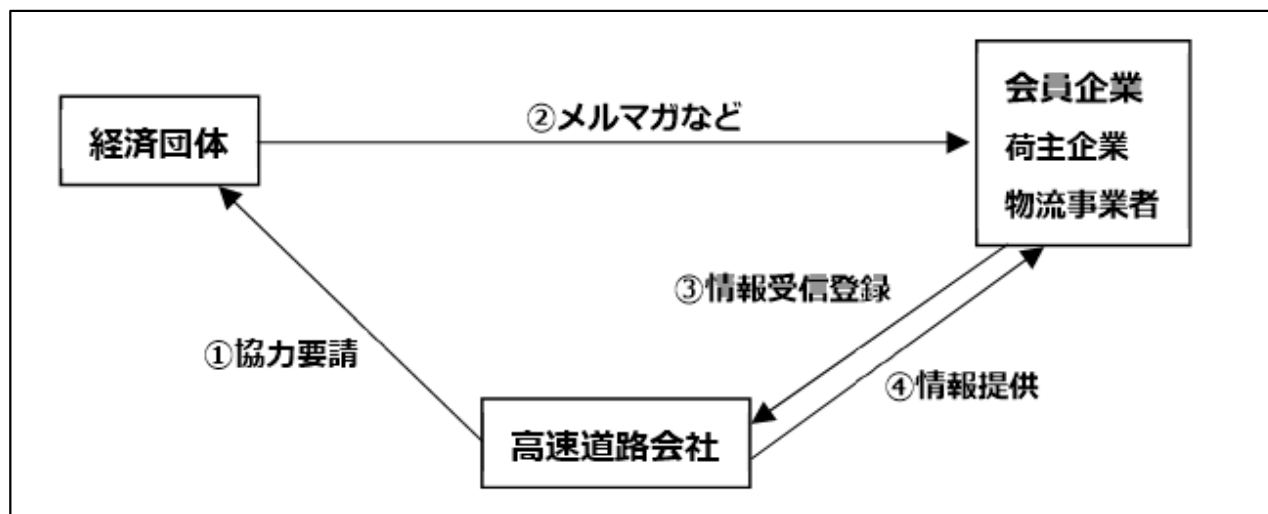
⇒ 空振りを恐れずに躊躇なく通行止めを行うことにより道路ネットワーク機能への影響を最小化

1. 確実な予防的通行止め・同時通行止めの実施に向けて関係機関との広域的な連携を強化します。

新名神の大規模車両滞留事象において、関係機関との情報共有が不十分であったことから、関係機関との連携強化を図り、確実な予防的通行止め・同時通行止めの実施に向け関係機関との調整を実施。

2. 徹底的な出控え要請を図ります。

徹底的な出控え要請のため、経済団体に協力をいただき、荷主企業や物流事業者から当社から直接情報提供をおこなう仕組みを構築します。また、当社管内において大雪の予測などがある場合には、従前実施しているテレビCMやラジオCMの緊急告知について、隣接高速道路会社と連携し関西地区での充実を図ります。



3. 情報提供ツールの改善・機能強化を図ります。

新名神の大規模車両滞留事象において、「iHighway」などから渋滞状況の把握をお客さまが確認しにくい状況であったことから、表示方法の見直しを図りお客さまが確認しやすいよう改善を図りました。また、「高速道路影響サイト」について、「重要なお知らせ」を件数表示からコメント表示することで、お客さまがより発表内容を認識しやすいよう機能改良をおこないました。更にNEXCO中日本が運用している「みちラジ」において、ご通行中のお客さまへ適切な情報提供をおこなうため機能強化を図ります。

公式WEBサイトやX(旧Twitter)、LINEなどあらゆる媒体を活用し、大雪予測、通行止め情報、路面状況、作業状況などきめ細やかな情報提供をおこないます。



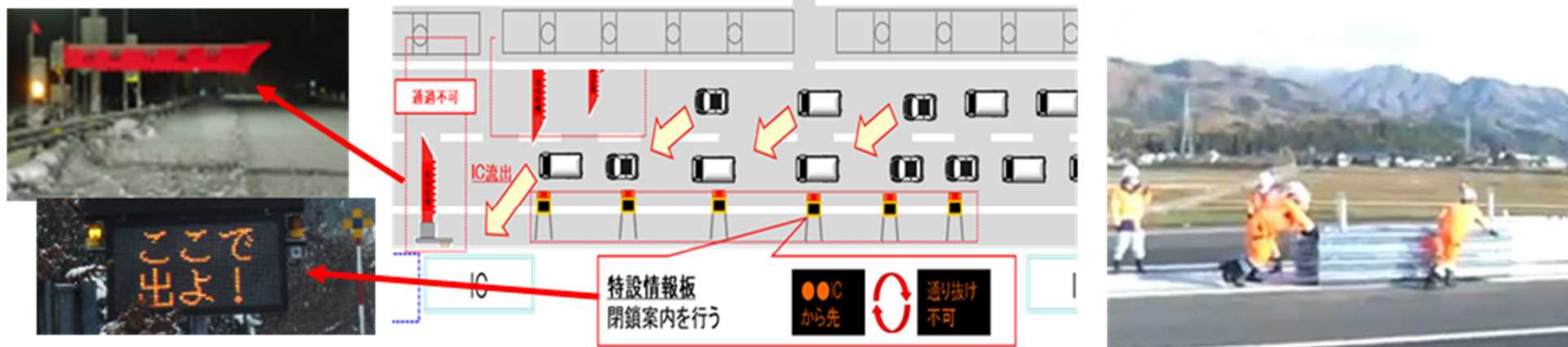
4. 滞留車両が発生した場合のお客様支援の改善を図ります。

新名神の大規模車両滞留事象において、乗員保護活動は実施していたものの、関係機関への救援物資などの応援要請をおこなわなかったことから十分に行き渡らなかった反省を踏まえ、応援要請に関する共通認識をもち、関係機関との情報共有を密にしながら支援体制構築の充実を図ります。

また、お客さまの一時避難に伴う宿泊施設・移動手段の確保などを円滑におこなうため、旅行会社との協定を活用し、乗員保護に努めます。

5. 通行止め時の流入抑制など、道路機能強化を図ります。

雪による通行止め事象が発生した際、物理的本線規制までのタイムラグを解消し、流入車両をより早く抑制することを目的に、インターチェンジ流出部手前に簡易な規制装置(エアーストッパー)を6インターチェンジに増設します(計20インターチェンジに設置)。また、大規模滞留発生時において、滞留車を早期に移動するため、人力で開閉可能なレーンオープナーを18箇所増設します(計45箇所を設置)。



《エアーストッパー・特設情報板稼働状況》 《エアーストッパー・特設情報板の設置レイアウト》

《レーンオープナー稼働訓練状況》

6. 通行止め早期解除に向けて凍結路面对策の強化を図ります。

新名神の大規模車両滞留事象では、通行止め解除に向けた作業において複数箇所での路面凍結が発生し、除去作業に時間を要しました。当社が保有するキャビテーション車(通常はトンネル灯具清掃などに使用)による放水が路面凍結時の氷除去に効果的であることがわかりましたので、路面凍結のおそれがある場合にあらかじめキャビテーション車を待機させ、路面凍結による交通障害が発生した場合に活用します。



《2023年1月26日 新名神での氷除去状況》



《キャビテーション車》



《トンネル灯具清掃での使用状況》

7. 大雪が予測される降雪の3日前から出控えや広域迂回などを要請する情報を提供します。

国による大雪に関する緊急発表や除雪能力を超える降雪が予測された場合、大雪が予測される3日前からテレビCMを中心にSNSなど多様な広報媒体を活用して、出控え・広域迂回の広報を繰り返し実施します。

お客さまの命を守るため、不要不急の外出を控えることや広域的な迂回、出発時間の変更などをお願いします。

なお、やむを得ず高速道路をご利用になる際には冬用タイヤ装着やタイヤチェーンの携行に加えて、お出かけ前には天気予報や交通状況をご確認のうえ、雪道での安全運転を心掛けていただきますようお願いいたします

■大雪が予測される降雪の3日前から出控えや広域迂回などを要請する情報を提供します

大雪が予測される場合

- ・3日前：不要不急の外出の自粛や広域迂回の呼びかけを実施します。
- ・1日前：通行止め区間、日時、迂回ルートなどの情報提供を実施します。
(緊急テレビCM、WEBサイト、SNS等)

予防的通行止めを行う場合

- ・高速道路をご利用のお客さま、物流事業者や荷主に輸送のスケジュールやルートの変更の検討を繰り返し促します。

■さまざまな媒体による広報の実施

- ・WEBサイト
- ・プレスリリース (FAX送信)
- ・テレビCM
- ・iHighway中日本 (Webサイト)
- ・X (旧Twitter)
(NEXCO中日本名古屋支社)
- ・ドライビングウェザー
- ・デジタルサイネージ (SA・PA設置)
- ・除雪NAVI
- ・高速道路および一般道上の情報板
- ・ハイウェイラジオ
- ・目で見えるハイウェイテレフォン
- ・みちラジ

など

①WEBサイト・プレスリリース・テレビCM

■大雪事前広報や冬用タイヤ装着に関する安全啓発広報の実施

- ・大雪に関する広報は3日前から開始（プレスリリース、WEBサイト、テレビCM）

プレスリリース・WEBサイト（例）

— お知らせ —

2021年12月26日
【17時50分発信】
目録：1. 大雪による通行止めのお知らせ【第1報】と通行止め可能性区間のお知らせ
2. 大雪に関する通行止めのお知らせ【第2報】と通行止め可能性区間のお知らせ

雪による通行止めのお知らせ【第1報】と通行止め可能性区間のお知らせ
～やむを得ず高速道路をご利用になる場合は、広域迂回ルートをご利用ください～

雪のため、通行止めをおこなっています。お客様には大変ご迷惑をおかけしますが、冬季交通の安全確保のためご理解とご協力をお願いいたします。

【通行止め区間】

路線名	方向	区間	開始時刻	事由
E1 名神高速道路	上	八日市IC～関ヶ原IC	12/26 18:29	雪
E1 名神高速道路	下	大府IC～八日市IC	12/26 18:29	雪
E9 北陸自動車道	上下	米原JCT～長浜IC	12/26 18:29	雪

なお、強い冬の気圧配置による大雪のため、当社管内の以下の高速道路の区間で、通行止めの可能性があります。やむを得ず高速道路をご利用になる場合は、広域迂回ルートをご利用ください。

【通行止めの可能性がある区間】

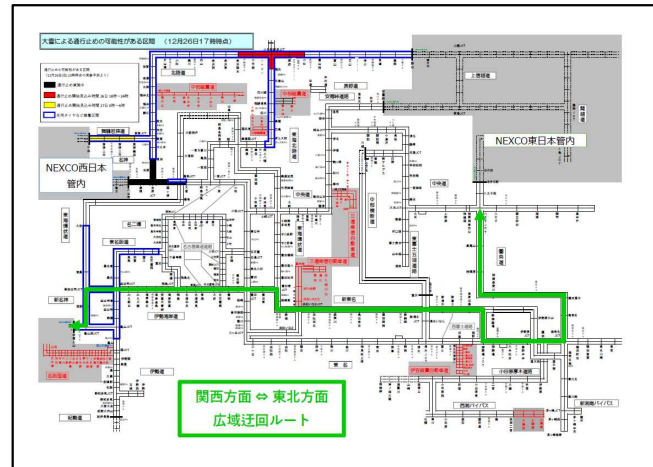
道路名	区間	通行止め開始見込み
E8 北陸自動車道	金沢南本IC～小杉IC	26日 18時～24時
E41 東海北陸自動車道	福光IC～小浜部IC	26日 18時～24時
E27 舞鶴若狭自動車道	小浜IC～若狭美浜IC	27日 0時～6時

※通行止め開始見込みは、記載時刻の間に通行止めを開始する可能性があることを示しております。
※通行する国道でも通行止めの可能性があります。

【広域迂回ルート】

出発地および目的地	広域迂回ルート
関西方面 ⇄ 東北方面	E1A 新名神・伊勢湾岸道・新東名 ⇄ E1 東名 ⇄ O4 圏央道

大雪に関するプレスリリース



WEBサイトでの通行止め予測区間の広報

【TVCMのポイント】

- ① 早めの冬用タイヤの装着、タイヤチェーン携行（初冬期）
- ② 冬用タイヤでもチェーンの準備を（厳冬期）
- ③ 出控えの呼びかけ（大雪降雪予測時）

テレビCM（例）

緊急のお知らせ
大雪による高速道路の通行止めが予測されています

2日間以上
高速道路での立ち往生も発生

自分だけは「大丈夫」と思わないで

命を守るため
車での不要不急の外出はお控えください

通常気象時

大雪降雪予測時

② i Highway中日本

アイハイウェイ

■ iHighway中日本による広報 (https://c-ihighway.jp/web/)

Highway 中日本ハイウェイ交通情報 2019年11月05日 11時10分現在 - 情報提供: JARTIC

/20◆通行止=東海北陸10/28~、東海環状11/11~、名神・北陸11/20~

東海 エリア

交通死亡事故急増!! スピードを控え

交通死亡事故急増!! スピードを控え安全運転を

ボタンを押すと現在の気象情報や道路状況を確認できるマークが表示されます。

一宮 気象予報 (11/05 - 12:00発表)

月/日	11/5 (曜日)	11/5 (火)	11/5 (火)	11/5 (火)
時	12 時	15 時	18 時	21 時
天気				
降雪量	- cm/h	- cm/h	- cm/h	- cm/h
気温	15 °C	16 °C	10 °C	8 °C

関ヶ原トンネル東

2019/11/05 11:15

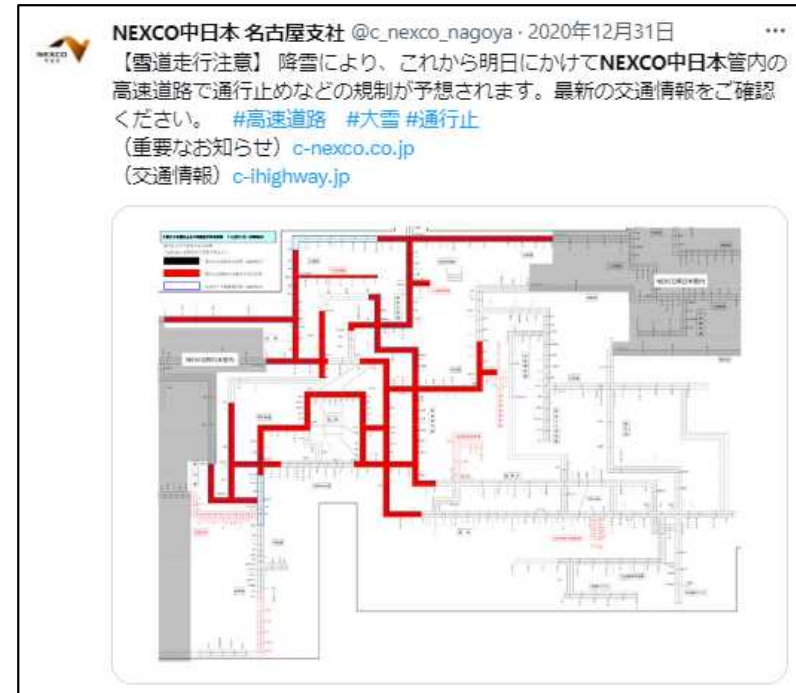
E1名神 下394.8KP 関ヶ原TN東

最新情報へ更新

③Twitter

■ Twitterによるきめ細かな情報提供

ツイート例



【情報提供内容】

- ①通行止め開始時・解除時の情報
- ②ランプ閉鎖時・解除時の情報 (JCT・IC・スマートICを含む)
- ③渋滞や通行止めの状況 (滞留発生時の先頭の状況など)
- ④車線規制による作業開始時・終了時の情報 (つらら落としなど)
- ⑤天候の見込みの情報 (天候急変時など)
- ⑥お客さま支援状況
- ⑦その他、お客さまにお伝えする情報
(本線などで滞留し情報収集が困難なお客さまなどへの情報提供を意識する)

④みちラジ

■スマートフォンアプリ「みちラジ」による情報提供

ハイウェイラジオで提供している交通情報をスマートフォンからでも入手できる情報通信アプリ「みちラジ」



情報提供のイメージ

- 交通情報に加え、「気象」「冬用タイヤ必要」などの情報を提供
- **臨時情報（20秒分）を活用して啓発広報を実施**

【広報内容】

「ノーマルタイヤ車のスタック発生による通行止めが多発しています。ノーマルタイヤ車で積雪・凍結路面を運転することは、道路交通法違反で罰金・反則金が課せられることがあります。必ず冬用タイヤを装着のうえ走行してください。」

⑤MIB (マルチインフォメーションボード)

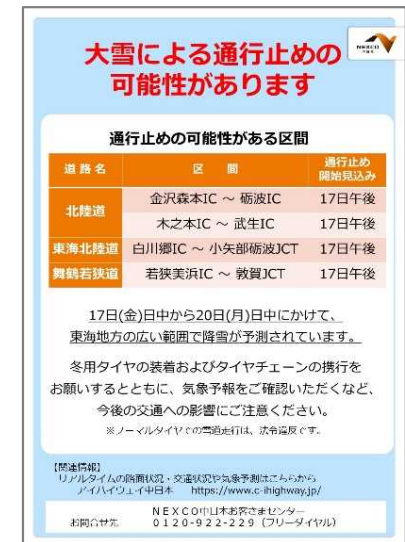
■MIB (マルチインフォメーションボード) による情報提供

「ノーマルタイヤ車で積雪・凍結路面を運転することは、道路交通法違反です。」ポスター 支社管内のSA・PAのMIB (全78箇所) で掲示。大雪予報時は通行止めの可能性などの注意喚起広報も実施。

道路名(78)	設置箇所
東名(10)	赤塚PA (上/下)、美合PA (上/下)、豊田上郷SA (上/下)、東郷PA (上/下)、守山PA (上/下)
新東名(3)	岡崎SA (集約)、長篠設楽原PA (上/下)
名神(10)	尾張一宮PA (上/下)、養老SA (上/下)、伊吹PA (上/下)、多賀SA (上/下)、湖東三山PA (上/下)
新名神(3)	土山SA (集約)、鈴鹿PA (上/下)
中央道(17)	内津峠PA (上/下)、虎溪山PA (上)、屏風山PA (上/下)、恵那峡SA (上/下)、神坂PA (上/下)、阿智PA (上/下)、座光寺PA (上/下)、駒ヶ岳SA (上/下)、小黒川PA (上/下)
東名阪道(6)	大山田PA (上/下)、御在所SA (上/下)、亀山PA (上/下)
伊勢道(4)	安濃SA (上/下)、嬉野PA (上/下)
東海北陸道(10)	関SA (上)、長良川SA (下)、ぎふ大和PA (上/下)、ひるがの高原SA (上/下)、松ノ木峠PA (上/下)、飛騨河合PA (上/下)
伊勢湾岸道(4)	刈谷PA (上/下)、湾岸長島PA (上/下)
北陸道(2)	神田PA (上/下)
東海環状道(9)	鞍ヶ池PA (上/下)、せと赤津PA (上/下)、五斗蒔PA (上/下)、美濃加茂SA (集約)、岐阜三輪PA (上/下)



ノーマルタイヤ車への啓発



大雪の注意喚起

■最新の交通状況を発信しています。お出かけ前にご確認ください。

1. ホームページでの高速道路の情報発信

『NEXCO中日本 ドライバーズサイト』



『iHighway中日本 (アイハイウェイ中日本)』

【アドレス】

PC版 (<https://www.c-ihighway.jp/>)

スマートフォン版 (<https://www.c-ihighway.jp/smp/>)



『高速道路影響サイト』

【アドレス】

PC版 (<https://ex-ssw.com/>)

2. X (旧Twitter) での高速道路の情報発信

『NEXCO中日本 名古屋支社 Twitter』

@c_nexco_nagoya

https://twitter.com/c_nexco_nagoya



3. 冬道を安全にご利用いただくための情報発信

『除雪NAVI』

【アドレス】

<https://snowcar.vpis.jp/>



【iPhoneの方】



【Androidの方】

『みちラジ』



【iPhoneの方】



【Androidの方】

『冬の雪道ドライブガイド』

【アドレス】

<https://www.c-nexco.co.jp/special/snow/>



『目で見えるハイウェイテレフォン』

【アドレス】

<http://c-nexco.highway-telephone.jp/main/>



運輸事業における降雪・積雪時の 安全確保に向けた取組

中部運輸局 総務部
安全防災・危機管理課
令和5年12月

雪道での立ち往生に注意！

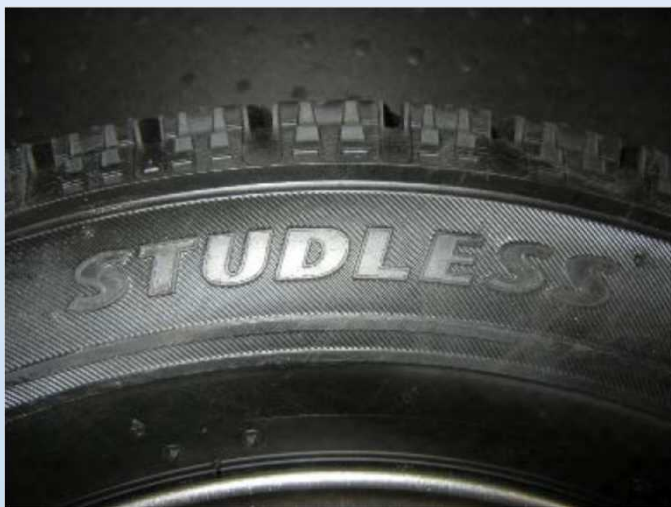
-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-



- ❏ 道路で大型車が立ち往生すると、**深刻な交通渋滞や通行止め**を引き起こします。
- ❏ 積雪・凍結路では、**必ず適切な冬用タイヤを装着**するとともに、**チェーンの携行・早めの装着**を心掛けてください。
- ❏ 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監査を行い、**講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象**となります。

冬用タイヤの選び方

- Ⓐ オールシーズンタイヤは、ちらつく程度の降雪で**路面と一部接触可能な積雪状況**を想定したタイヤです。
- Ⓐ 路面を覆うほどの**過酷な積雪路・凍結路**においては、**スタッドレス表記**(国内表記)又は**スノーフレイクマーク**(国際表記)が表示されている冬用タイヤを**全車輪に装着**してください。



スタッドレス表記の例



スノーフレイクマーク
タイヤの側面に表示されています。

冬用タイヤの使用限度

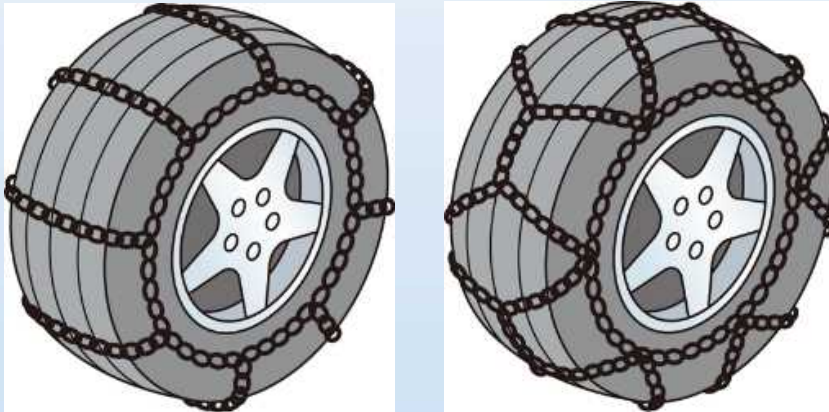
- Ⓐ **溝深さが50%以上残っていることを「プラットホーム」で確認**しましょう。(一部海外メーカー品は除く)



残り溝深さが「プラットホーム」に達している状態。冬用タイヤとして使用できません。

チェーンの効果

- ❏ チェーンを**駆動輪に装着**すると、冬用タイヤより積雪・凍結路での**発進・登坂性能が向上**します。
- ❏ チェーンの**サイズや締め方が不適切**な場合、**タイヤとの間で滑りが生じ**効果が得られません。



大型車用金属チェーン

チェーンの携行・装着

- ❏ **大雪警報が発表されるなど相当量の積雪**が見込まれる場合等にはチェーンを携行してください。
- ❏ 降雪時には、**立ち往生する前に早めのチェーン装着**を心掛けましょう。立ち往生した後の装着は極めて困難です。

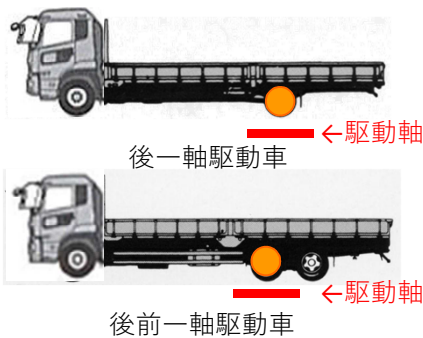
性能限界

- ❏ 冬用タイヤ及びチェーンのいずれも**性能限界があり、万能ではありません**。例えば、車両の**バンパーに接触**するような**新雪の深い積雪路**では走行困難です。
- ❏ 運行前に道路・気象情報を確認し、**運行の可否や経路を検討**してください。

立ち往生が発生しやすい車両

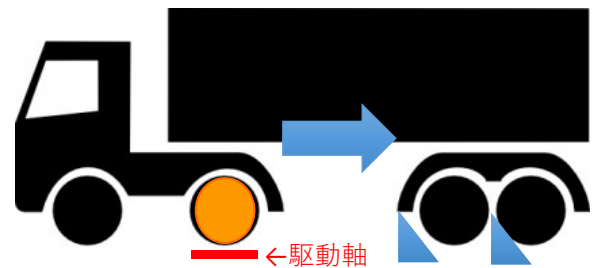
以下の特徴を持つ車両は、積雪路等において**特に立ち往生が発生しやすい傾向**にあるので注意が必要です。

一軸駆動車



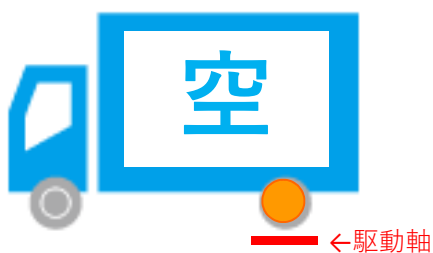
二軸駆動車に比べて駆動軸が空転しやすい。

連結車



トレーラー付近の積雪により走行抵抗が増大。

空荷状態



駆動軸に十分な荷重がかからず、発進性能が低下。

年式の古い車両



トラクションコントロール※等の機能が搭載されていない。

※発進時等に駆動輪の回転を制御し空転を低減する装置

「自動車を安全に使うためには」→

自動車を安全に使うための注意点を発信しています。



国土交通省
自動車局 審査・リコール課





※積雪・凍結道路での運行前に、運転上の注意点を把握

- ① 低速ギアでゆっくり発進し、タイヤを空転させない。
- ② 急坂道では登り終わるまで低速ギアを使用し、ギヤチェンジしない。
- ③ 急発進、急加速、急旋回及び急停止は避ける。柔らかくブレーキ。
- ④ カーブに入る前に減速する。速度は控えめ。十分な車間距離。
- ⑤ 冬用タイヤの性能には限界があるので、運転時は細心の注意を払う。
- ⑥ 冬用タイヤを乾燥路や湿潤路で使用する場合は走行速度に注意する。

事務連絡
令和3年1月28日

荷主関係団体等 へ

農林水産省食料産業局食品流通課
経済産業省商務・サービスグループ物流企画室
国土交通省自動車局貨物課

大雪等異常気象時における輸送の安全の確保に向けたご理解とご協力をお願い

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

貨物運送に当たっては、荷主からの運送時間や運行経路等の指示に基づき運送する必要があり、大雪などの異常気象による突発的な道路状況の変化が生じた場合であっても、運行の中止や運送経路の変更等を行う場合には、荷主の承諾を得る必要があるなど、荷主のご理解とご協力が必要不可欠です。

こうした状況の中、昨今の大雪時において、高速道路や主要国道で大規模な車両の立ち往生が発生し、大型トラックが滞留の原因となったことが確認されており、トラック事業者に対する指導にとどまらず、荷主のご理解とご協力を得ながら大雪時における物流のあり方について、関係省庁とも連携し取り組んでいく必要があります。

つきましては、物流機能の維持とトラック事業者や運転者の生命・身体を守るため、今般の趣旨についてご理解いただき、下記の事項について、傘下会員への周知等にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

【要請事項】

- 大雪などの異常気象による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。
- 大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

運輸防災マネジメントセミナー

令和5年度運輸安全マネジメント強化キャンペーン(下期)



国土交通省 大臣官房 運輸安全監理官室

- 1** 自然災害（雪害）の状況と被害
- 2** 自然災害（雪害）から得られる課題と対応ポイント
- 3** 運輸防災マネジメントのポイント（取組事例を含む）
 - （1）経営トップの責務
 - （2）防災の基本方針
 - （3）リスク評価
 - （4）事前の「備え」
- 4** まとめ



1 自然災害（雪害）の現状と被害

■ 平成30年2月の大雪に伴う滞留（福井等）

- ・福井市では、「昭和56年豪雪」以来の記録的な大雪となり、福井・石川県境付近では**大規模な車両滞留**も発生

＜被害状況＞（福井・石川県境）

最大滞留車両：約1,500台

車両滞留期間：2日と17時間

当該地域の生活や経済活動に多大な影響が発生！



【国道8号（福井県）車両滞留の状況】

■ 令和2年12月の大雪に伴う滞留

関越自動車道（月夜野IC～小出IC間）

- ・**大型車のスタック**を契機に、**長時間滞留が発生**
- ・自衛隊や警察等の協力による物資配布、車両救出を実施。

＜被害状況＞（新潟県、群馬県等）

最大滞留車両：約2,100台

車両滞留期間：【新潟市方面】 約1日と9時間

【東京方面】 約2日と4時間



【関越自動車道（新潟県、群馬県等）車両滞留の状況】

■ 令和3年1月の大雪に伴う滞留 北陸自動車道（福井IC～金津IC間）滞留約1,600台

国道8号（福井）渋滞長最大15km

■ 令和4年1月の大雪に伴う滞留 首都高速（東京都）車両滞留14時間 等

■ 令和5年1月の大雪に伴う滞留 鉄道車両の駅間停車 等

1. 自然災害（雪害）から得られる課題

近年、大規模な車両滞留が多数発生し、安全・安定輸送に関わる課題が顕在化。

- ① 的確な気象情報・道路情報の把握
- ② 上記①を踏まえた、運行（航）計画（中止又は広域迂回）の策定
- ③ 雪に対する事前の備えの必要性



2. 雪害への対応ポイント

- ① 降雪・積雪の予測はある程度可能。最新の気象予報・警報、道路交通情報をもとに、積雪や視界不良による運行中の立ち往生等を防止するための迅速な判断と対応が極めて重要。
- ② 雪崩、融雪による河川の増水に伴う二次災害にも十分な注意が必要。
- ③ 旅客・貨物輸送の一時運休・停止について、旅客・荷主等に前広に周知、県・関係機関との連絡を密にして対応体制を構築、除雪後の輸送再開に備えることが重要。
- ④ トラック等の場合、突発的な大雪に備え、適切な冬用タイヤやチェーン、車内への食料・飲料などの備えも大切。

(1) 経営トップの責務

(2) 防災の基本方針

(3) リスク評価

(4) 事前の「備え」

(5) 代替性の確保

(6) 平時と非常時の体制

(7) 自然災害の態様に応じた対応

(8) 楽観主義の排除（思い込み（バイアス）の排除）

(9) 関係者との連携

(10) 利用者への情報発信

(11) 教育と訓練

(12) 見直し・改善（他事例の学び）



4点に絞って説明

3 運輸防災マネジメントのポイント



(1) 経営トップの責務

1. トップダウン

- ① 経営トップの責務は、事故対応と同様に重要。特に自然災害による被災の直前から直後の対応は、危機管理そのもの。トップダウンで対応する体制が必要。
- ② 災害発生時、経営トップはいち早く災害対策本部に参集し、自ら対策を指示。

2. 経営判断

- ① 事前の備えや事業継続のため経営資源（予算と要員等）の配分、優先的に再開する事業の事前策定等も求められるため、経営上重要な判断が必要。
- ② 例えば、鉄道の計画運休などのように一旦中止する経営判断が必要となるケースもあることから、経営トップの対応が必要。



3. 事業者全体での対応

「防災」も「安全」と同様、平時からマネジメント部門が経営課題として認識して、事業者全体が対応策を考え、実践することが重要。

(2) 安全方針と防災の基本方針

- ① 防災の基本方針は、経営トップが決裁。
内容は、① 人命最優先（避難・救助・救護の原則） → ② 事業継続
- ② すべての社員・職員にとって重要。



リスクを正しく評価することが防災の第一歩

遭遇する懸念のある **自然災害の種別と程度を把握、リスク評価** を行った上で、**事前の備えから事後の対応までの対策** を実施。

雪害に関しては、**積雪・降雪予報、過去の積雪状況等によりハザードを把握する必要有**

【雪害ハザードの具体的な把握方法】

- 気象庁 今後の雪（降雪短時間予想）1時間毎に推定した現在の **積雪の深さ** と **降雪量の分布**、及び **6時間先までの予測**
- 気象庁 過去の気象データ検索
- 重ねるハザードマップ（雪崩危険箇所、予防的通行規制区間）
- 道路・線路等サイト設置カメラからの情報 等



リスク評価の流れ

①自然災害の種別・程度を把握

②被害の規模・程度を見積もる

③事前の備えから事後の対応まで対策を検討

④対策を実行

事故防止と同じく、平素からの取組がポイント。平時からの「備え」が不可欠。



留意すべき点



① 計画的装備

リスク評価による最大被害をもとに、事前準備のレベルと内容を検討。防災品、**燃料**、食料の備蓄、避難施設の準備、宿泊場所の確保、**非常電源の配備**等を**計画的に実施**。

② 緊急連絡網

緊急連絡網の携帯電話等の電話番号リストは**常時最新のもの**を入力。**複数の通信・連絡手段**の確保。

③ 防災マニュアル


マニュアル整備は、社員・職員の役割確認、防災意識向上の意味で有意義。**「詳細化」ではなく、行動規範のような内容の方が実用的**

④ 事業継続計画

防災を経営に必要な事業活動として一体化して考える。事業者全体で自ら策定する過程を大切に。

⑤ タイムライン

「平時の準備」「直前の準備」「直後の応急」「復旧(事業継続)」に分けて、**自然災害対応のタイムラインを設定**、局面毎のリスク評価実施。

 留意すべき点 → 雪の場合の計画的装備

① 雪道への備え

- ➡ 冬用タイヤへの交換
- ➡ チェーン（チェーン規制のため）の携行



- ➡ 冬用ワイパーへの交換
- ➡ こまめな給油
- ➡ 十分な車間距離の確保
- ➡ 時間にゆとりのある運行計画

② スタックした場合の脱出のための備え

- ➡ スコップ、長靴、防寒着、毛布、脱出マット、懐中電灯等



③ 万が一の滞留のための備え

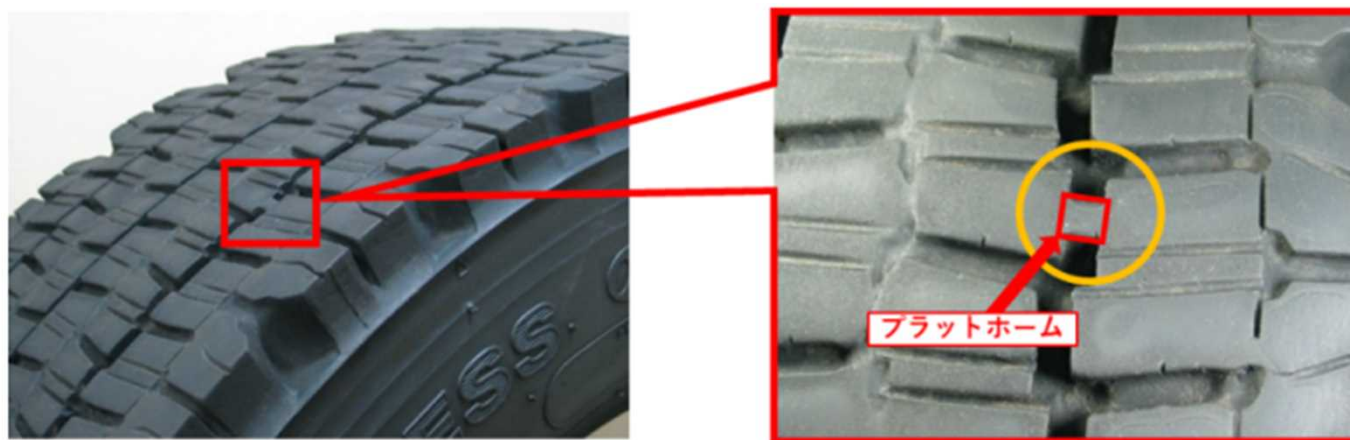
- ➡ ②に加え、非常食、飲料水、携帯トイレ、本社との通信手段、ラジオ等



事前の備えの内容については、マネジメントレビューや内部監査などにより、見直し・改善

令和3年1月26日より、バス・トラック運送事業者は、雪道において適正な冬用タイヤを使用していることを確認することが義務付けられました。

1. **整備管理者**は、雪道を走行する自動車のタイヤについて、溝の深さがタイヤ製作者の推奨する使用限度※よりもすり減っていないことを確認しなければなりません。
2. **運行管理者**は、雪道を走行する自動車について、点呼の際に上記事項が確認されていることを確認しなければなりません。



※国内メーカー等の冬用タイヤでは、使用限度の目安として、溝の深さが新品時の**50%**まですり減った際にプラットホームが溝部分の表面に現れます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000264.html

(4) 事前の「備え」・タイムライン

タイムライン（防災行動計画）とは、災害の発生を前提に、大規模水災害、雪害等の発生予測時刻から逆算して、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「どのように」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画。



留意すべき点

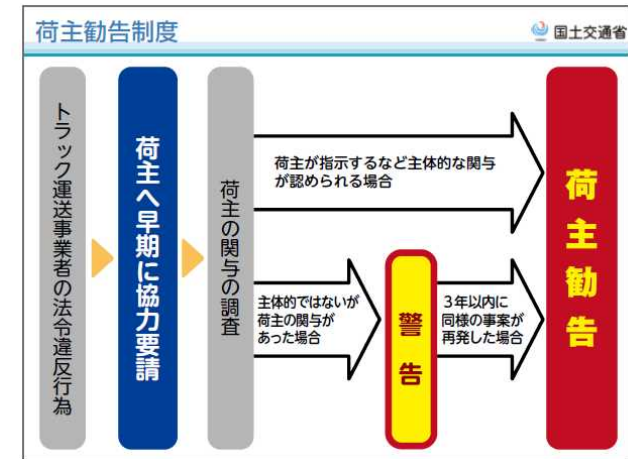
- ① 台風・大雪等は、気象予報等から発生がある程度予測可能。
- ② 例えば、積雪予報に応じて、リスクの高い路線の一時運休、速度制限を行い積雪量予報を踏まえ、計画運休又は、広域迂回経路による運行を実施等。
- ③ タイムラインの目安として大雪特別警報、大雪警報・注意報等の発表に関する情報が活用可能。（例 早期注意情報、気象台からの発表など）
- ④ 一時運休、全面運休、計画運休は、地域の人流（旅客）・物流（荷主等）に大きな影響を与えることから、国、地方公共団体、関係者との情報共有と連携、利用者・荷主等への適時適切な情報提供が重要。

気象予報等からある程度予測可能な大雪・台風等については、国から示された「異常気象時における措置の目安」を基に、**着荷主・発荷主等と連携**を図りつつ、安全が確保されるまでの間、**運行を一時中断（計画運休）する等、予め協議・協定締結**を行うことをご検討ください。

なお、安全な輸送を行うことができないと判断したにもかかわらず、荷主等に輸送を強要された場合、**国土交通省にその旨を通報する手段**が設けられています。

⚠️ 異常気象時における措置の目安 ⚠️

気象状況	雨の強さ等	気象庁が示す車両への影響	輸送の目安*
降雨時 	20~30mm/h	ワイパーを速くしても見づらい	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	30~50mm/h	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）	輸送を中止することも検討するべき
	50mm/h以上	車の運転は危険	輸送することは適切ではない
暴風時 	10~15m/s	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	15~20m/s	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	
	20~30m/s	通常で運転するのが困難になる	輸送を中止することも検討するべき
	30m/s以上	走行中のトラックが横転する	輸送することは適切ではない
降雪時 		大雪注意報が発表されているときは必要な措置を講じるべき	
視界不良（濃霧・風雪等）時 		視界が概ね20m以下であるときは輸送を中止することも検討するべき	
警報発表時 		輸送の安全を確保するための措置を講じた上、輸送の可否を判断するべき	



無理な輸送を強要されたら、下記へ情報提供を！



* 輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではないが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じずに輸送したことが確認された場合には、「貨物自動車運送事業者に対する行政処分等の基準について（平成21年9月29日付け国自安第73号、国自貨第77号、国自整第67号）」に基づき行政処分を行う。

自動車モード（バス）＜新潟交通株式会社＞



取組

①豪雪時の対応体制の構築

豪雪時の対応マニュアルを策定し、対応体制を以下のとおり構築

◆**対策本部の設置基準**：**新潟地方気象台16時時点**で発表する降雪予報（17時から翌9時までの予想降雪量）において**下越海岸部で最大20cmを超えた場合**

◆**対策本部の体制**：

対策本部長：乗合バス部長（統括）、対策副本部長：運営センター販売課長（本部長代理）、運営センター運行課長（運行判断・指示、除雪対応）

◆**早朝の巡回体制の構築**：

上記の対策本部設置基準が満たされる場合、以下の表に基づき**巡回**を実施し、**路線毎に運行・運休・迂回運行を判断**。始発5:30までに**利用者へTwitter、HP等で情報提供**→R2年度2班体制での運用状況を踏まえ、R3年度からは3班体制へ**見直し・改善**

	出勤時間	担当（2班体制→3班体制）	役割
一次出勤者	4:00	責任者	運休・迂回運行の決定
		コントローラー(責任者補助)	路線状況の集約・営業所への指示
	巡回後 5:30	各路線毎の担当者	社用車で担当路線巡回、 運行可否判断後、本社出勤 運休・迂回の場合、停留所掲示作業
二次出勤者	6:30	・新潟駅周辺	・新潟駅前の旅客案内・除雪
		・バスセンター	・旅客案内

自動車モード (バス) <新潟交通株式会社>



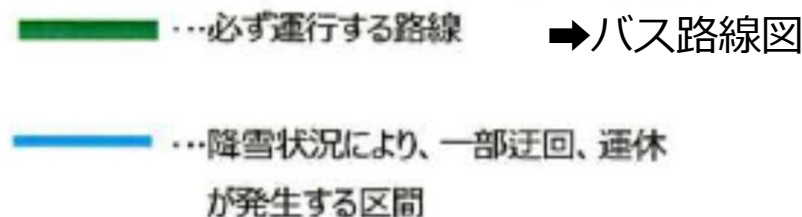
取組 (続き)

②雪かき作業 → 各営業所内敷地は、除雪車を配備し、除雪体制を構築。バス停付近は担当部署以外を含め人海戦術による除雪。降車場所と乗車場所の2箇所を除雪

③冬タイヤの管理 → 毎年、早め(11月中旬)に新品を購入し冬用タイヤへ履き替え。雪シーズン後もそのまま交換せず履き潰して毎年同じ時期の交換により冬期には**常に良い状態のタイヤを維持**

④豪雪時に優先される路線の明確化と利用者への情報提供

降雪期には道路管理者との連携により非常時運行体制を実施。豪雪時には、自治体の除雪能力の限界を踏まえ、道幅が狭くなることから安全な運行ルートを確認するため近接の幹線道路に迂回するなど、**「必ず運行する路線」と「降雪状況によって、一部迂回、運休区間が発生する路線」**を区別し**優先順位を付け**運行を継続。**利用者へHP、Twitterを通して迅速・的確な運行情報を提供**



取組の効果

- ① 豪雪時の路線の優先順位を踏まえた、安全な運行の維持
- ② 利用者への適時・適切な運行情報の提供

4 本日のまとめ

1. 経営トップの責務

(1) 大規模災害時は経営トップの判断が必要

① 予測可能な雪害 **一部運休 → 全面運休 → 一部再開 → 全面再開の判断**が必要

② 雪害対応に対する経営資源（ヒト・モノ・カネ）の選択と集中

(2) 事前の備えなどへの投資

2. 防災の基本方針

重点推進事項

(1) 防災の基本方針は、経営トップが決裁

(2) 優先順位 **① 人命最優先（避難、救助、救護の原則）** → **② 事業継続**

(3) 防災の基本方針の対象者 → **すべての社員・職員にとって重要**



3. リスク評価

重点推進事項

降雪・積雪の状況・予報等を活用して本社・営業所及び運行（航）エリアの雪害の可能性を把握し、降雪・積雪による事業への影響度を想定

4. 事前の「備え」

(1) 上記3.の結果を踏まえ、**雪シーズン前**に、事前の「備え」を行い、

降雪・積雪情報の入手先を確認

(2) 予測可能な雪害に対しては**タイムラインを策定**し、対応を実施

(3) 荷主等との**事前協議・協定締結**等により安全最優先の運行の実施



ご清聴ありがとうございました。



アンケートにご協力下さい。

※アンケートは、以下のQRコードよりアクセス可能です。





国土交通省 大臣官房
運輸安全監理官室

運輸防災マネジメント指針の解説の策定について(令和3年2月22日)

目的 大臣プロジェクト「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」の一環として、運輸事業者の自然災害対応力の向上のため、令和2年7月6日に策定・公表された「運輸防災マネジメント指針」(以下「指針」という。)を**詳細に分かりやすく解説**することで、**更なる理解**を促し、運輸事業者における**運輸防災マネジメントの構築の一助**とすることを目的としています。

特徴

- ① 防災指針の項毎に詳しく解説。左ページに防災指針、右ページに解説、**見やすさに配慮**したレイアウト。
2冊を見比べる必要なく、1冊で完結。

- ② 設定により**冊子印刷**が可能。 ※中綴じホッチキスが必要になります。



見どころ

①指針を分かりやすく説明

運輸防災マネジメントのポイントとして指針において推奨される取組及びその留意すべき点について分かりやすい詳細な説明を追加しています。

- ◆防災の基本方針 ◆自然災害リスク評価からその対応の一連の対応
- ◆計画的装備、緊急連絡網、防災マニュアル、タイムライン等の事前の備えの内容
- ◆代替性の確保(ハード面、ソフト面) ◆利用者/荷主への情報提供
- ◆関係者(自治体・国・事業者)との連携 ◆教育・訓練等



QRコード

②具体的な事例・例示の提示

防災指針の中で推奨する種々の取組の具体的な事例、例示を関連箇所に提示しています。

③関係する参考情報の提供

随所に、指針の参考情報を掲載。情報元のURLとQRコードを提供しています。



運輸防災マネジメントに役立つ情報PPT資料について

災害関連情報(ハザードマップ、気象情報等)、BCP策定等の支援(中小企業庁、DBJ格付融資等)、再建支援、多言語支援(JNTO提供アプリ、コールセンター等)



QRコード

取組事例のHP公開について

33件(鉄道11件、自動車12件、海事7件、航空3件)令和5年11月現在

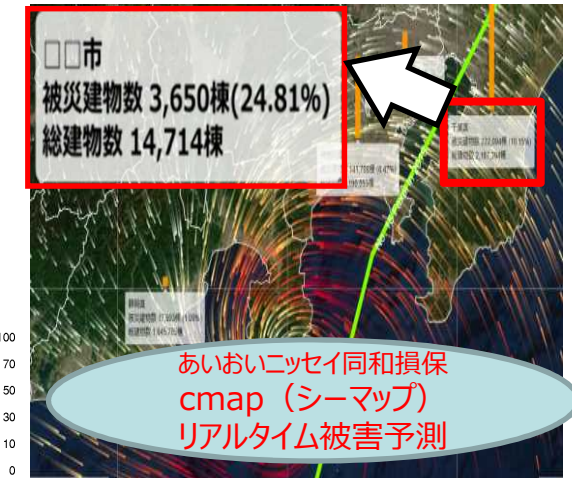
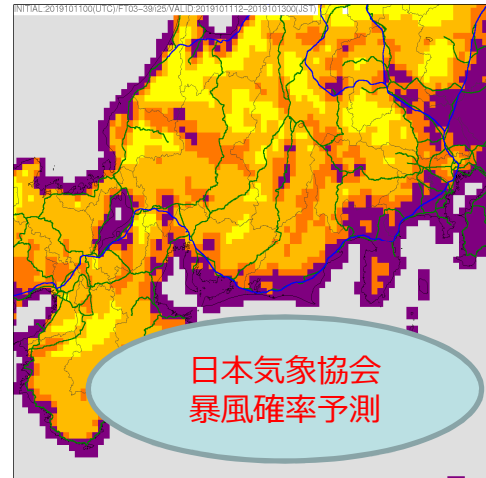


QRコード

営業所高台移転、非常用発電機設置、予備燃料確保、各種訓練実施、荷主との事前協議等

災害関連情報

- 気象庁：各種気象データの提供
- （一財）日本気象協会
：精緻な気象情報の提供
- 国土交通省
：川の防災情報
防災ポータル
重ねるハザードマップ
わがまちハザードマップ
DiMAPS
大規模氾濫減災協議会制度



BCP策定等の支援

- 地方自治体
：運輸事業者の防災力向上に向けた公的支援
- 内閣府防災：事業継続ガイドライン
- 中小企業庁：中小企業BCP策定運用指針
BCP策定・運用についての
専門家派遣
地域と企業の連携支援
- 日本政策投資銀行
：BCM格付融資
- 金融機関等
：BCP作成支援

再 建 支 援

- 日本政策金融公庫等
：災害復旧貸付
- 各都道府県等の
信用保証協会
：セーフティネット保証4号
災害関係保証
- 最寄りの生活衛生同業組合
：生活衛生改善貸付

多言語対応支援

- 日本政府観光局
(JNTO)
：コールセンター
(050-3816-2787)
アプリ
(Safety Assistance)
WEB、SNS



※気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>)

○気象庁にて、気象防災、地震・津波、火山、海洋等の様々な情報の提供が行われている。

気象防災

- 気象警報・注意報
- 大雨危険度
- キキクル
- 雨雲の動き
- 今後の雨
- 気象情報
- 台風情報
- 指定河川洪水予報
- 土砂災害警戒情報
- 竜巻注意情報
- 熱中症警戒アラート
- 今後の雪

等

地震・津波

- 津波警報・予報
- 地震情報
- 推計震度分布図
- 長周期地震動に関する観測情報
- 南海トラフ地震関連情報

等

- 噴火速報・警報・予報
- 降灰予報
- 火山ガス予報

等

火山

- 海上警報・予報
- 海上分布予報
- 波浪実況・予想図
- 潮位観測情報
- 波浪観測情報

等

海洋

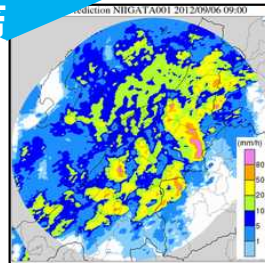


出典：(一財) 日本気象協会ホームページ (<https://www.jwa.or.jp/>)

豪雨・浸水・洪水・高潮対策

● 気象モデルによる降雨予想システム

最大78時間先までの降水量を精度良く予測。



● 土砂災害予想システム

山岳域で広範囲に渡って存在する設備網や線状の設備網（送電線網、パイプライン網、線路網、道路網など）の土砂災害リスクの把握に有効。

● ダムの事前放流判断支援サービス

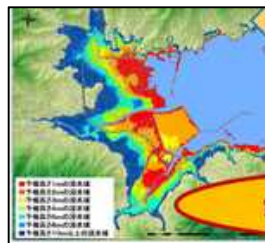
高解像度の雨量予測を基にダムへの流入量を予測し、事前放流判断を支援

● 高潮予測システム

120時間先までシミュレーションによる予測情報を作成。5コースの台風経路を設定し、1時間ごとの各地点の予測潮位を提供します。（東京湾、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海のみ）

● リアルタイム津波浸水予測システム

これまで培ってきた津波数値計算技術を用いて気象庁の震源予測に対応した津波到達時刻、高さ、浸水範囲、浸水深さなどをリアルタイムで予測するシステム



地震・津波対策

危機管理・防災

● GoStopシステム

全国の高速道路を対象に、気象による輸送影響リスクを72時間前から、地図等によりひと目で確認できるWebサービス。各路線のインターチェンジごとに、5つの気象要素（雨、風、雪、吹雪、越波）を1時間ごとに把握可能。

● 気象データ入電情報通知システム (MIEmAS)

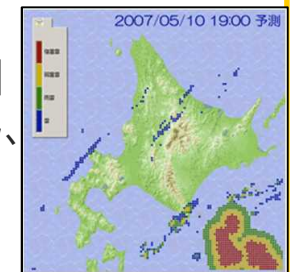
警報や地震情報等の発表をいち早く知らせ、災害時における組織の迅速な対応を支援。



気象
リスク
マネジメント
に関する情報
を提供

● 雷監視・予測サービス

落雷・雲放電の観測データと最新予測技術を活用し「落雷観測情報」「雷ナウキャスト」「雷予測メッシュ」を提供。雷雲の接近を事前に検知し、外作業や発電設備の事前停止など、迅速な初動対策を促す。



● 気象観測・解析

地上での気象観測以外に、係留気球や光放射観測、超音波風向風速計を用いて高層での気象観測や風況観測などを実施

その他

○ 国土交通省や各関係機関等の情報提供ツールを一元化して、多言語化やスマートフォン対応等により、国内外の方々が平時から容易に防災情報等を入手できるよう、防災ポータルを公開。

〈日頃から知ってほしい情報〉

被害想定

想定される被害やハザードマップを見ることができます

路線情報

バス・鉄道の路線図を見ることができます

私たちの取り組み

国土交通省が取り組む災害対策などを見ることができます

身の守り方

災害時に身を守るための知識を見ることができます

〈災害時、見てほしい情報〉

被害状況

災害時、いち早く被害の状況を見ることができます

気象状況

台風などの気象情報、雨量や河川の水位などを見ることができます

逃げるための情報

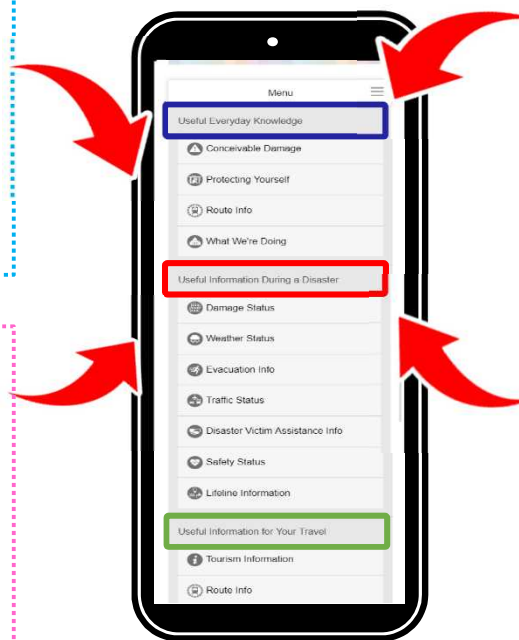
避難所等の防災施設を検索することができます

交通・物流情報

道路交通情報や鉄道・航空各社の運行情報、物流の状況を見ることができます

※その他、ライフライン情報などの情報も掲載されています

関係機関の情報提供ツールが
一元化



ご利用はコチラ

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/index.html>



出典：国土交通省川の防災情報ホームページ (http://www.river.go.jp/kwabou/html/map/ipTopGaikyoo_ac80_fw0.html)

●ウェブサイト「川の防災情報」 ※英語版あり

- 国または都道府県等が管理している一級河川、二級河川の情報（国、都道府県等が管理している水位観測所、雨量観測所等の情報）が原則対象。
- 無料**で閲覧可能。また、閲覧するために**登録が必要な情報は無し**。ただし、閲覧するためのデータ通信費用については、利用者の負担。

○雨量

10分ごとの雨量や1時間ごとの雨量が確認可能。

○レーダ雨量

全国及び各地域の雨量分布が一目でわかる。
※高精度・高分解能（250mメッシュ）で、ほぼリアルタイム（配信間隔1分）のレーダ雨量情報が確認可能（XRAIN GIS版）。

○水位

全国の水位観測所のリアルタイムの水位を、観測所付近の川の断面図とあわせて確認可能。

○カメラ

全国に設置されている河川カメラにおける静止画を見ることが可能。

○洪水予警報等

各地域の氾濫注意情報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報、氾濫発生情報の発表状況について確認可能。

○ダム諸量データ

ダムに関して、10分ごとに観測される「貯水位」、「全流入量」、「全放流量」、「貯水量」、「貯水率（利水容量・有効容量）」などの値が確認可能。
※国土交通省水管理・国土保全局、（独）水資源機構、都道府県が設置したダムや堰で観測された情報が対象。

※ご利用はコチラ

➡：国土交通省川の防災情報ホームページ



(https://www.river.go.jp/kwabou/html/map/ipTopGaikyoo_ac80_fw0.html)

○「重ねるハザードマップ」と「わがまちハザードマップ」の2つのコンテンツから、ハザードマップへの関心を通じて住民等の防災意識向上を図ることを目的に、事前の防災対策や災害時の避難など、防災に役立つ情報を提供しています。

重ねるハザードマップ

様々な防災に役立つ情報を、**全国シームレス**に地図上で閲覧できます。

道路冠水想定箇所
緊急輸送道路
事前通行規制区間

土砂災害警戒区域等

浸水想定区域

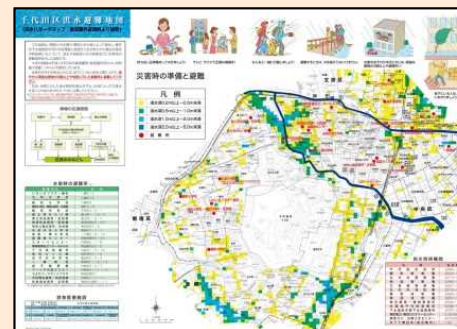
写真

1つの地図に重ね合わせて閲覧



わがまちハザードマップ

全国の市町村のハザードマップを閲覧することができます。



東京都千代田区洪水ハザードマップ



藤沢市津波ハザードマップ

避難計画・防災対策に役立つような、様々な防災に関する情報を提供しています

道路冠水想定箇所等

避難ルート
の検討



浸水想定区域

浸水対策
の検討



土地条件図等

耐震対策
の検討



身のまわりの災害リスクを簡単に調べることができます！

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

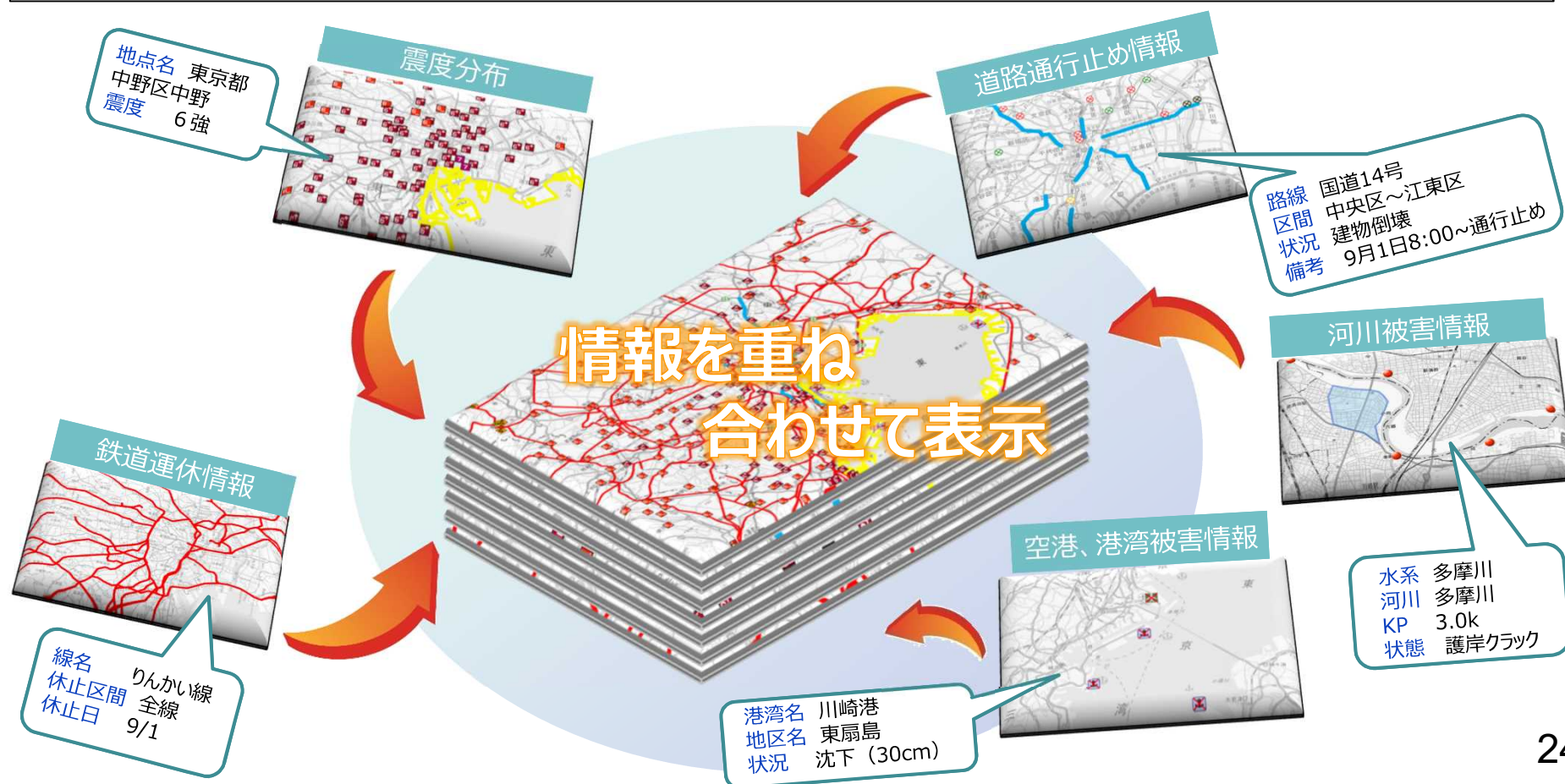
ハザードマップ

検索



※出典：<https://dimaps.mlit.go.jp/dimaps/index.html>

- 統合災害情報システム (DiMAPS) は、地震や風水害等の災害時に、国土交通省の関係部局からの被害報告や他システムの情報等をWeb地図上に集約し、統合表示するシステム。
- 拡大、縮小可能なシームレスなWeb地図上で災害情報の迅速な共有が可能。被害の全体像を含め災害対応に必要な情報を迅速に把握し、オペレーション等に活用。





出典：内閣府ホームページ（http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/sk_04.html）

○近年、経済の高度化に伴い、ひとつの企業の製品やサービスの供給停止が、社会経済に与える影響は、ますます大きくなっており、企業は、災害や事故で被害を受けても、取引先等の利害関係者から、重要な業務が中断しないこと、中断しても短い期間で再開することが望まれています。



○**広く事業継続の意義を理解してもらい、事業継続計画（BCP）策定の手がかりとなるよう、内閣府にて事業継続ガイドラインが公表されています。**

＜本ガイドラインの目的＞

※ BCM : Business Continuity Management

事業継続の取組、すなわち事業継続計画（BCP）を含めた事業継続マネジメント（BCM）の概要、必要性、有効性、実施方法、策定方法、留意事項等を示すことで、我が国の企業・組織の自主的な事業継続の取組を促し、ひいては我が国全体の事業継続能力の向上を実現すること。

＜本ガイドラインの対象＞

民間企業を主な対象とした内容が多く記載されていますが、業種・業態・規模を問わず、全ての企業・組織を対象としています。

※事業継続ガイドライン（令和3年4月）

<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/pdf/guideline202104.pdf>

※事業継続ガイドライン 第三版 解説書（平成26年7月）

http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/pdf/guideline03_ex.pdf



- 中小企業BCP策定運用指針は、中小企業へのBCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)の普及を促進することを目的として、中小企業関係者や有識者の意見を踏まえ、中小企業庁が作成したものです。指針には、中小企業の実態や実状に基づいたBCPの策定及び継続的な運用の具体的な方法が、わかりやすく説明されています。
- 本指針は、中小企業の経営者が、従業員と一緒に、自社のBCPを策定し、日常的に、運用するとともに、緊急時に備えてBCPの発動を演習するための指針です。中小企業が投入できる時間と労力に応じて、4通りのコース（入門コース、基本コース、中級コース、上級コース）が用意されています。

コース	説明	BCP策定に要する日数の目安
入門コース	BCPの策定・運用に当たって、最低限必要な要素を抽出したコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCP様式類に沿って記入していくことで、BCP必要最低限のBCPを策定・運用します。	経営者1人で1～2時間程度
基本コース	BCPの策定・運用を始めようとする多くの経営者向けのコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCPサイクルに沿って、BCP様式類に目標復旧時間や緊急連絡先等の具体的な情報を記入して、BCPを策定・運用します。	経営者1人で1～2日程度
中級コース	BCPサイクルに関する理論を学びつつ、自社のBCPを策定・運用したい経営者向けのコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCPサイクルに沿って、BCP様式類に目標復旧時間や緊急連絡先等の具体的な情報を記入して、体系的にBCPを策定・運用します。	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者1人で延べ3～5日程度 ・経営者とサブリーダー含め数人で2～3日程度
上級コース	BCPを策定・運用済みの企業が、複数の企業と連携して取り組んだり、より深い分析を行うことで、BCPの策定・運用をステップアップするためのコースです。	経営者とサブリーダー含め数人で延べ1週間程度

注) BCPの策定に限った日数の目安ですが、会社の規模や事業内容、事前対策の選定内容等によって変動します。
また、別途、BCPの運用（教育訓練や計画見直し）にも取り組むための時間が必要となります。

※詳しくはコチラ

➡中小企業庁ホームページ (<https://www.chusho.meti.go.jp/bcp/index.html>)



●日本政府観光局（JNTO）にて、自然災害時等の非常時に役立つ各種情報提供が行われている。

○多言語コールセンター「Japan Visitor Hotline」（050-3816-2787）

- ・病気、災害等、非常時のサポート及び一般観光案内を実施。
- ・365日、24時間、英語・中国語・韓国語で対応。

○公式Twitter／微博（Weibo）「Japan Safe Travel」

自然災害に関する警報・注意報、各交通機関の交通障害、感染症や熱中症の注意喚起など訪日中の旅行者の安心・安全につながる情報を配信。

※URL(Twitter) : <https://twitter.com/JapanSafeTravel>

※URL(微博) : <https://weibo.com/u/7385501623>



○スマートフォン向けアプリ「Japan Official Travel App」

このアプリ内の以下の項目で災害関連の各種情報提供を実施。

「In Case of Trouble」・・・大使館・領事館情報

「Points of Interest」・・・病院情報、避難場所・避難所情報 等

「Safety Assistance」（Other内）・・・災害情報、災害時に役立つ表現等

「Route Search」・・・路線情報、経路案内情報

※アプリダウンロード : <https://www.jnto.go.jp/smartapp/eng/about.html>



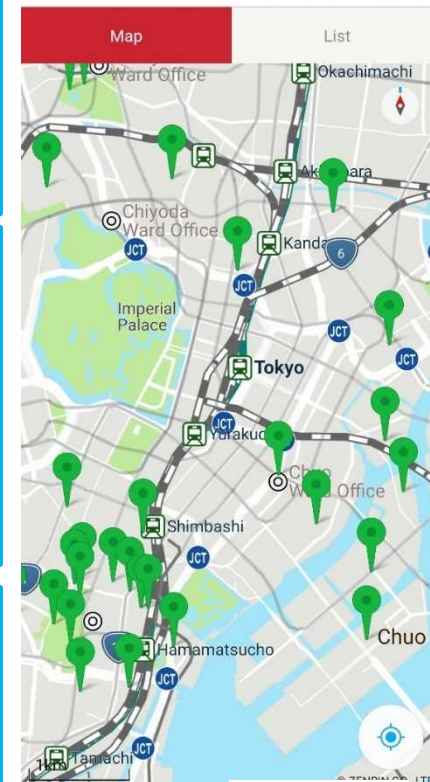
○JNTOグローバルウェブサイト

このウェブ内のImportant Notice内の「Japan Safe Travel Information」で、災害情報、主な鉄道・空港・航空の情報、医療関係情報等の参照先を提供。

※URL : <https://www.japan.travel/en/news/JapanSafeTravel/>



※Japan Official Travel Appにおける避難場所・避難所情報表示の例
※地図表示には通信可能な環境が必要です



※詳しくはコチラ➡https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/safetravelinfo.html



<p>運輸防災マネジメント指針 報道発表資料</p>	<p>運輸防災マネジメント指針の解説</p>	<p>災害対策基本法</p>
		
<p>防災基本計画 (政府の中央防災会議)</p>	<p>中央防災会議2013 「首都直下地震の被害想定と対策に ついて(最終報告)」</p>	<p>「A2-BCP」ガイドライン ～自然災害に強い空港を目指して～ (国土交通省航空局)</p>
		